京城日報

二月二日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
京城大和町一丁目 發行所 京城日報社
電話 [illegible]

第四十回帝國議會（東京特電）

▲貴族院（一日）

▲兩委員會

貴族院は一日午前十時より巡査看守退職扶助法委員會、徵兵令中改正法律案委員會開會せり（編輯延著）

▲衆議院（一日）

▲改正法律案委員會

衆議院は一日午前十時臨時國庫證券法中改正法律案委員會、鐵道院?鐵道敷設法中改正法律案委員會、所得税法改正法律案外十一件委員會を開會せり

▲各派交渉會

一日午前十一時より院內議長室に於て各派交渉會を開き大岡、濱田正副議長以下各派委員出席、二月十一日を卜し憲法發布記念祝賀會の件に就き協議の末右祝賀會を內閣及び貴族院に交渉の上舉行する事を申し合せ十一時半散會せり（編輯延著）

▲朝鮮事業公債法律案提出

政府は一日朝鮮事業公債法中改正法律案及び登錄税法中改正法律案を衆議院に提出せるが公債法改正案の內容は從來九千六百萬圓なりし事業公債を一億六千八百萬圓に改めんとするにあり（編輯延著）

○レーニン殺戮

トロツキー捕縛か

露都に於てプレプラゼンスキー、セメノフスキー兩聯隊は赤色近衛兵と衝突しレーニンを殺しトロツキーを捕縛したりとの電報ありたるも未だ確ならざる如し（哈爾賓特電）

○各國代表者の要求

過激派の跋扈鎭壓方に就て

ブラゴウエチエンスクに於ける日本、支那、佛蘭西、伊太利、希臘人の各代表者は極東自治聯合會に對し過激派の跋扈及び放免されたる囚人等の跳梁の爲め從來平穩なりし市內が益々不安の狀を呈し來れるに對し之れが鎭壓の爲め軍紀を振肅し相當の手段を執られたしとの最後の要求を發せり（哈爾賓電報）

○大露西亞政府近く成立か

大露西亞政府は近く成立を見るべしと（哈爾賓特電）

○在露獨人經濟獨立企圖

イルクーツクに多數の獨逸商人入り込み在莫斯科獨逸商人と連絡し西伯利に於ける經濟上の獨占を企て居れり（哈爾賓電報）

○チ市過激派捕縛

チタに於て哥薩克隊長は七百五十名の過激派員を捕縛し且つ其の他をイルクーツクに追放したる爲め市內平穩となれり（哈爾賓特電）

○ブ市無秩序取締

ブラゴウエチエンスク在留邦人を始め各外國人は同地過激派の跋扈に依る無秩序の取締に關する最後の要求を露國側に致せり（哈爾賓特電）

○伯林罷業大規模

罷業の目的、キール造兵工廠職工休業

一月二十九日以來伯林及び附近の戰時工業は停止狀態にあり、既に同盟罷業を開始したる者廿五萬人に達しスーンベルグにても同盟罷業を大規模に企てられ警官は暴力にて示威運動者を驅逐しつゝあり キール海軍造兵工廠の職工は全部業を休み麵麭商は機關銃を有する警官に依りて護衛されつゝあり（倫敦電報）

▲伯林の同盟罷業者の主張は人民の自由に基く無併合、無賠償平和、普通選擧等なり（倫敦電報）

○キール軍港に暴動

獨逸海軍根據地キール軍港に暴動起り首魁將校六名射殺されたり（倫敦電報）

○米大統領の應答

ウイルソン大統領は近く議會に於て獨逸宰相ヘルトリング伯及び墺國外相チエルニン伯の演說に對し反駁的應答をなすべし（倫敦電報）

○石井大使免官

特命全權大使子爵石井菊次郎氏は任務終了に就き本官を免ぜられたり（東京特電）

○美濃部總裁著安

美濃部鮮銀總裁阿部滿洲副總支配人一行は豫定の通り二日午前六時廿五分來安領事以下多數官民の出迎を受け旅館元寶館に入れるが「滿洲の昨今の景氣は各地共良好なるものゝ如し近々鄭家屯にも支店を開設する筈なるが現に角滿洲の將來は極めて有望なり」と語れり（安東特電）

○深澤領事通過

歸省中の深澤吉林領事は二日朝來釜午前十時半發列車にて北行せり（釜山特電）

◎墺國紛擾成行

罷工一先鎭靜事態尚重大

墺匈國內部の動搖を釀成したる原因は獨墺側と露國との間に於ける講和條約の行惱みたると內地に於ける食糧窮乏社會制度の不備なるとに在り兩者相俟つて相當に根柢深き一波瀾を捲き起したるものと云ふ可く其最も強烈を極めたる墺國首都に於ては墺匈國內閣が進んで其非併合の意見を表明し社會制度の改正を誓約したる結果、去月二十二三日頃罷工勞働者の就業を見るに至りたるも、尚同國內勞働階級不穩の機運は到底一掃するを得ずウヰンナ勞働者は百名の代表者會議を組織し食糧大臣に對し無條件平和克復、八時間勞働等を要求し尚ほ今後の交渉を社會黨幹部に委任したる爲め幹部は外務大臣に對し其の採る可き非賠償、非併合講和方針を定めん事を要求し首相內相をして之れが採用を承諾せしめんとしたるが首相は社會黨の協議の上、政府は一般講和、軍備制限、仲裁裁判を欲するものにして露國より領土を要求せんとするものに非ず又波蘭は廣く人民の選擧する國民大會をして自由に其運命を決せしむ可く古領地撤兵要求には應じ得ざるも成る可く妥協的態度を以て露國との講和成立に努力すべしと述べ其他の講和問題に就いても勞働階級の要求を容る可き事を約束せり 社會黨領袖アドラは勞働者代表者會に對し政府の讓歩は充分ならざるも罷工運動の成功は確保せられたるにより今回は一先づ之れにて滿足し今後政府の態度を監視し更に必要に應じ運動を再開すべしと勸め斯くて勞働者代表者側は就業に決定せり但し勞働者側の過激分子に於ては尚不滿なる者少からず今後此等勞働者が再び騷擾を惹起す事なきを保し難く事態斯くの如くに至らば勞働者側は社會黨幹部と隔絕し事態拾收方法は更に困難を加ふべしと觀測せらるゝ匈牙利に於ても政府勞働者側の主張を承認せり（東京）

◎馮總統の局面打破

討伐令效果如何

馮總統の北京に歸來するや直ちに妥協主義の王士珍に代ふるに段文?を以て總理たらしめ南方全部の討伐令を發布したりとの報あり南方全部の討伐令を發布したりとの報あり[illegible]づるに至りしを見れば各督軍と會見交渉せる情狀如何も亦推察せられざるに非ず

▲督軍等との熟談

即ち總統は曹錕及び張懷芝に對し和平に從來自分は主權者として重んずべき立場より南北妥協を主張し南方派は要求は彼の國會問題の如き迄を讓歩する所ありしに益々調子付き江蘇、浙江、福建、安徽の四督軍迄も自派に收めん事を要求し一方備へ無きに乘じて岳州を攻陷せり斯くては北方の立場無きを以て討伐を斷行せざるを得ず第二に結局は妥協が本旨なるを以て京漢方面は長沙、津浦方面は福州迄即ち長沙、福州線を占領するに及ばゞ講和する事第三に[illegible]的督軍は此目的の爲めに努力し出兵する事と三段に分ちて說く所ありし

▲總統の苦心を語る

討伐の口實あり次第斷行せんとし[illegible]張懷芝及び徐州よりたるを以て張懷芝及び倪嗣沖の代表者は速やかに遠く[illegible]も緊張したる次第なるが此三人は從來總統は晉、蘇、倪の三督軍と協調し[illegible]に加へて同樣に總統を威脅して[illegible]せる次第なるが此三人は從來段派の三督軍として總統を威脅したる者なるを以て同氏は既に段派陸軍の裏を掻き其策遂行の爲に頗る自信を得し次第なるに依り其根據地たる南京迄遠くを要せず直に引返し閣員を召集して其決心を告げたるが如し

▲馮總統の立場は

頗く目下聊か難ありとなりたるも時局は益々紛糾すべき模樣あり即ち第一に依り主戰派三督軍は之に同情せる段派の反撥なり馮氏今回の逆說も元來利己本位の事なるを以て段派策士は必ず此方面に努力すべし第二に南伐問題なり前述の如く馮總統は依然妥協を本旨とし出兵は其手段なるを以て長沙福州線を面倒なく占領し得れば、兎も角も非常の困難苦痛あるに於ては北洋督軍連が何時迄も陰忍其用をなすべきか又其討伐令の漸く帰る一派の部分的討伐のものならむと稱せられしが今報ぜらるゝ所は全部の討伐令なく斯くて南方派が依然馮總統に同情を續くべきや問題にして南方派憤慨して馮總統迄を敵とし北方派亦苦戰するに至らば馮氏自ら南北の大決裂を招き自ら妥協政策を裏切るものなり馮總統が此難局を如何に處置すべきや甚だ興味ある事なるが一般に馮氏の意は岳州恢復位の所にて妥協の方針ならんと噂されつゝあり（東京）

◎東拓間島發展

東洋拓殖會社にては夙に其の出張所を間島に新設する計畫あり社員を派して同地の經濟狀態を調査中なりし所最近終了目下印刷中なるが會社にては遠からず出張所の新設を行ひ同地の拓殖金融に從ふべしと

◎長安坪に移民收容

京城郊外の理想的移民地東拓にて數年に亙り漢江の護岸工事を行ひ同時に開墾を進めつゝありし蠶島長安坪の開墾地には本年渡來すべき第八回移民二十戶を第一著とし今後其の收容を行ふと事なるが同地は總面積四百數十町歩に達し殆んど全部未墾地なりしを以て從來鮮人の小作しつゝある土地を移民の收容に充當すべき土地とは全然趣きを異にし京城には近く地味は皆な理想に近き移民收容地と稱するを得べく今後年々數十戶宛の收容をなす豫定の由なりと

◎鮮銀と鄭家屯

近く出張所開設

朝鮮銀行にては最近美濃部總裁滿洲各地に於て演說せし如く滿蒙奧地に營業所を增設する事となり其の第一著として四鄭鐵道の終點鄭家屯に出張所新設の事確定目下大田滿洲總支配人は鄭家屯に出張諸種の準備に盡力中なるが其開店は多分二月下旬若くば三月上旬となるべし尚ほ鮮銀としては鐵道沿線外の奧地に進出する事は今回を以て嚆矢とするに付鮮銀の奧地流通如何を觀測するに於て其の鄭家屯新設は重大の意義を有するものと稱すべし尚ほ同地は鐵道の終點なると在留邦人も少なからざるに付相當の流通高は直ちに見らるべしと

◎鮮銀決算

配當は年八分

鮮銀通常株主總會に就ては別項の如きが同會に附議すべき利益金配案は左の如し

第十七期利益分配案

金六百六十六萬一千二十圓七十三錢		當期總益金
金三百七十六萬一千七百九十八圓五十三錢		當期總損金
金八十九萬九千二百二十二圓二十錢		前期繰越金
差引		
金二十三萬七千九百七十八圓四錢		當期純益金
合計金百十三萬七千二百圓二十四錢		
內		
金二十萬圓		損失補塡準備金
金二萬圓		配當平均準備金
金六萬五千圓		役員賞與金及交際費
金三十萬圓		舊株配當金（年六分）
金十一萬九千三百八十三圓五十六錢		新株配當金（年六分）
金十萬圓		舊株再配當金（年二分）
金三萬九千七百九十四圓五十二錢		新株再配當金（年二分）
金二十九萬三千二十二圓四十六錢		後期繰越金

▲財界の發展と鮮銀營業

右に附中村熊務局長は曰く鮮銀大正六年度下半期の決算は內鮮滿各地財界の擴張と相俟ち成績は頗る好調の方なりき乃ち之れを前期に比すれば總益金に於て二百三十萬圓の增加を示したるが一方營業所の增設並に各方面の關係を愈々盛ならしめたる行員の增加等は又總損金の激增となり同じく前期より約百萬圓を餘分に出費し居れるが結局の純益勘定は八十九萬九千餘圓の數字を示し乃ち前期より二十八萬一千餘圓の增となり居れり而して其の分配は決算數字の如く損失補塡準備金に二十萬圓配當平均準備金に二萬圓を計上せしが之れを前期に比すれば損失補塡に於て

▲約八萬圓

七千圓の增となり居れり又配當は前期總會にて年八分の割とせしがこは一分增の年八分の割とせしものにて總裁の非公式に約せる事を事實とせしものにて銀行の成績良好に付此際增配をなすは當然なり又後期繰越金は二十九萬三千圓を計上したり

◎鮮銀總會提案

朝鮮銀行にては既報の如く二月十八日午後二時より東京銀行集會所に於て第十七回通常株主總會を開會すべく會議の目的たる事項は左の如し

一、第十七期營業報告書貸借對照表財產目錄及び損益計算書を承認する事
一、第十七期利益金分配案を議決する事
一、理事一名任期滿了すべきに付其後任者を選擧する事
一、理事一名增員並に其の候補者を選擧する事
一、監事一名任期滿了すべきに付其の後任者を選擧する事

理事增員の事は既報の如きが一名に對し候補者は倍數を要するを以て二名の選擧をなし內一名に對し朝鮮總督より任命の事となるべし

◎京畿麥作收穫局

大正六年中に於ける京畿道管內麥作附反別及び收穫高狀況を聞くに作附反別計九十二萬三千六百九十反にして中大麥六十六萬六千七百零九反小麥二十四萬三千七百十四反裸麥一萬三千二百七十二反にして收穫計六十萬零五千三百七十四石にして中大麥四十五萬六千三百七十四石小麥十四萬一千六百零三石裸麥七千三百九十七石なり而して一反歩當收穫高は大麥六斗八升五合小麥五斗八升一合裸麥五斗五升七合にして前年に比し反當收穫減少せるは寒害及び旱魃に罹りたる爲めなりと

◎軍司令官一行去來

松川軍司令官、金久保旅團長の一行は一日午後五時五分馬山より大田著豫定二日大田大隊の巡視を爲し午後一時發列車にて群山方面へ向け出發せり停車場には多數官民の送迎ありたり（大田）

◎勅使河原院長歸任

管內司法事務巡閱の爲め出張中なりし京城地方法院長勅使河原健之助氏は二日午前開城より歸任せり

◎趙道長官入京

黃海道長官趙羲聞氏は一日午後入京不知火へ投せり

◎森安博士出張

總督府醫院醫官醫學博士森安連吉氏は一月三十日附を以て專門學術取調の爲福岡市に出張を命ぜられたり

◎鹽澤警務部長歸任

京畿道警務部長鹽澤[illegible]氏は一月二十八日京城出發龍仁驪州管內巡視中なりし處二日午後五時廿分歸任す

◎廣瀨經理部長歸任

土地築造視察の爲め南鮮出張中の軍經理部長廣瀨正德氏は豫定の通り二日午後九時歸任す

◎大塚少佐東上

朝鮮駐劄軍司令部附步兵少佐大塚堅之助氏は陸軍大學に於ける兵站業務研究會に召集せられ二月七日龍山驛發列車にて東上の筈なるが同月二十七日歸任の豫定なり

◎久保局長歸任

京元線に於ける現業從事員の慰問を終へたる京城管理局長久保要藏氏は二日午後五時十分南大門驛著列車にて歸任せり

◎開城新報十周年記念

開城新報社は來る十一日創刊滿十週年に相當するを以て同日は增頁を爲し記念號を發行する由

人事消息

▲平井三男氏（度支部事務課長）一月二十八日附を以て臨時財產調査局?會議臨席の爲め朱安に出張を命ぜらる
▲向坂俊三郞氏（勸業模範場技師）二日附を以て全北蠶業林業關係產業技術會に出席の爲め全州に出張を命ぜらる
▲西岡貴太郞氏（忠南道事務官）一日夜入京京城ホテルへ
▲林和一氏（木浦署長）二日午前出京
▲白井猪三郞氏（大邱署長）二日午前出京
▲小瀨元司氏（久原鑛業會社京城事務所長）二日午前鎭南浦より歸京

大阪だより

▲米棉需給失衡

米棉缺乏の原因は內地需要增加と英國の需要激增に因るものにして米國統計局の調査に依れば米國內地の棉花消費高豫想にリンター及び外棉を合せて七百五十五萬俵乃至八百萬俵見當なるが一方英國向きは當季最初の四ケ月間に八十六萬二千百五十七俵上りを以て此の割合にて需要さるゝものとすれば當季中の對英輸出總高は五百五十萬俵に上る計算なりと云へば米英兩國の消費高のみにても約千三百萬俵に上り本年の最終豫想千五十八萬餘俵に比し二百四十萬俵の不足を告ぐる筈にして其他日、佛國、伊國等の需要高は約百五十六十萬俵に上るべきを以て前年の繰越棉を加ふるも尚不足を感じ或は豫想の需要高は供給減を來すべく米棉の高き所以は主に此點にありと

▲濠洲禁輸影響

シドニー來電に依れば濠洲政府は突然日本に對する總ての輸出を禁止せりとの事なるが其眞相に就ては未だ詳細を知り難きが當事者は該電報につき大要下の如き見解を持するものゝ如し『今回の全部禁輸は寢耳に水なるが羊毛の禁輸は昨年十二月廿三日を以て本邦へは其輸入を禁じたるを以て本邦[illegible]已に南阿南米に其補給を得つゝあれば是により特種の打擊を受くる如きは尠くこれなかるべく至りては從來少量[illegible]已に昨年十一月[illegible]れば是亦さしたる[illegible]ざるべきも[illegible]濠州に俟つ[illegible]業は既に中止[illegible]いふも過言ならざるべく[illegible]頗りに共販[illegible]何れにせよ[illegible]ざるべしと

▲鐵需要薄

鐵[illegible]況は昨年來より一月に[illegible]四圓方の引返しを見せたる[illegible]合の變となり[illegible]鈍調に傾き[illegible]造船材料のアングル[illegible]禁したるのみにて一般の[illegible]入自由なるを以て大阪市場の[illegible]手持品は價格安に賣買[illegible]年來の市場沈靜の狀は持續せられ[illegible]

▲ネル界の好況

綿ネルは客來氣強にて三百七十圓に漕付けしが原料拂底の割合に相場は[illegible]み目下持合の狀なるが英ネルは之に反して品調[illegible]なれども二月後の需要を見越し氣配却々強く[illegible]四割の高值へなりセルは頗る好況を示し原絲輸入困難にして生產[illegible]らざる爲め相場强調となり[illegible]低值に比し約三割方の上向きを見せ[illegible]稀へ又綿ネルも品薄にて[illegible]割內外の高見込にてネルセル製品は需要期氣配強硬なりと

▲人肥稍小戻る

人肥需要季節に入りたるを以て人肥[illegible]豆粕及び米糠の[illegible]況を示したるが其後[illegible]係により愈々好況を示し[illegible]昨今稍市況軟弱を示し[illegible]渡三百五十圓[illegible]十五圓[illegible]三十圓四月渡三百二十[illegible]へ一時に比し五圓[illegible]り魚肥は船腹貨車不足の爲め產地よりの輸送意の如くならず加ふるに地方筋の買進に在荷薄となり賣行良好なるを以て相場漸次堉進せり（大阪支局）

女と爆藥に絡まれた 密漁船の裏面（七）

腹に巻き込んだり信玄袋に一杯詰め込んで盛んに密移入

爆藥は如何にして密輸移入されるかと言ふに數年前は石油罐を二重底にして上に石油を入れ底に爆藥を詰め込んで密移を企てたのを釜山警察署で發見した事もあつた大連から

▽信玄袋の底 に入れて來た姉妹連れの女が仁川で逮捕された事もあつた、九州邊から玄界を乘越ゑて來た漁船を臨檢した時船底から數百發の爆藥が現はれ出た、沖買の發動機船が内地往航の際密移入をして來る、腹に巻き込んで釜山に

▽上陸する際 怪しと睨まれて押へられた醜業婦らしい女があつた、大邱から釜山に着いた乘客が赤帽に信玄袋を運搬させると餘り重量があるので怪まれ赤帽から巡査に密告し巡査が直ちに檢査すると中には爆藥が一杯詰め込んであつたなど官憲に少しの油斷でもあつたなら潜り拔けやうとする輩が多いので其筋でも

▽之が取締に は隨分手を燒いてゐる模樣である之等爆藥が供給される處は素より不明であるが多くは大連や九州地方で、大連では内地の方面で五十本入五圓位で賣買されるものが四圓五十錢と言ふ安値で密買する事が出來且つ内地に比して比較的自由な處もあるので手を廻すのに都合よく、九州では博多を中心にして鑛業其他土木業が盛んな結果請負師などから

▽素敵な値段 で分けて貰ふ、そして仲買人が一箱の中から五六本宛カスリを取つて更らに之を法外の値段で賣り付けるのであるから密漁者の手に入る時には普通市價の何倍かに相當する程に高いものになつてゐる、斯樣に賣るも買ふも明るみに出て大ピラに取引する事の出來ぬものになると

▽弱味につけ 込む手段にいくらでもあるが質の惡い人間になると爆藥の出所があるから紹介しやうと言つて代金を受取り其まゝ逐電、圖々しいのになると返金を迫られると出る處へ出て取れと言つて逆ねおを喰はせるものもあるが結局は脛に傷もつ身の惰なさに

▽泣寢入りに 終つて了ふ事などもある。近頃では内地漁船を眞似て甘浦九龍浦邊では朝鮮船も密漁をやつてゐるのであるが此等密漁者や爆藥密賣者などが逮捕された折は如何に嚴重な取調べを受けても決して自狀せず密漁者になると只平謝りに謝つて連類などの名前は舌の根を切られても吐かぬので取調べの警官もホト〳〵持餘してゐる（完）

兩陛下に獻上品

李王世子殿下には三十一日葉山御用邸に伺候相成りたる際御土産品として左の通り兩陛下に獻上あられたり

天皇陛下へ

葉卷煙草	一箱
華果	一箱
梨	一箱
勝栗	一箱
胡桃の實	一箱
松の實	一箱

皇后陛下へ

緞子	三卷

尚世子殿下は近日沼津御用邸に伺候皇太子殿下に御對面歸京の御挨拶ある可し（東京特電）

實業界に重寶がられた 逝ける朝吹英二氏の事ども

二月三十一日東京橋本挽町の自邸に於いて逝去せる朝吹英二氏について在京の某氏は語つて曰く

朝吹英二氏の近年は後進の道を開くために實業界から隱退して茶事骨董三昧に日を送つてゐたが一時は三井物産を代表して盛に活躍し

◆東京の交際界 に重きをなされたものであつた。氏は大分縣の生れで耶馬溪附近の庄屋の出であつたとか聞いてゐる東京に出て慶應義塾を出ると故中上川彦次郎氏と姻戚の關係から中上川氏が三井に入る時共に入つて三井の呉服部から鐘紡、紡績の各部に歴任して多くの功績を殘したが後ち顧問となつて青年有爲の士のために進路を開いたのであつた

故朝吹英二氏

氏の容貌は暗黒時目にして且つ瘢痕滿面一見頗る醜惡のやうだがその内にも一種人を

◆引きつける力 を有つてゐて氏が賣術として人に對する時は頗る愛嬌に富んでゐたのは氏の持つて生れた徳であつたらう、それであるから氏は三井の油となり鼻紐となつて實業界との間に紛擾があつたりすると仲に入つて仲裁したりしたものだがこれは單り三井のみで無く一般の實業社會の衝突紛擾にも頼まれて居中調停の勞を執るやうにしてゐたので實業界には重寶缺くべからざる人物とされてゐた。亦犬養氏などとも同窓であつた關係からか政治にも

◆多少の趣味を 有つて政治上の惡戲をしたこともあつた、更に又氏は性來の義侠心からその朋友知己に篤かつた、素と貧賤から身を起したので貧窮に苦しむ友人も隨分多かつたがこれ等に對してはよく財を散じて世話をしたものであつた、氏に關しては奇談逸話も大分あるが益田孝氏などとは中津塾以來の友であつた爲め互ひに惡戲や素破拔きを仕合つてゐたものであるが或る時益田氏から朝吹氏の所へ

◆招待狀が來た ので行つて見ると先著の客が朝吹氏に對して招待に預かつた禮を述べる、朝吹氏は招待した覺えはないのに變な事だと怪訝な顏をしてゐると一同が朝吹氏下名の招待の葉書を出すので扨ては益田から一杯喰はされたかと觀念して急に主人役になり濟し故井上侯が主賓となつて吉原の配膳さるゝと出て來た藝妓は曾て吉原の老妓で朝吹氏と關係のあつたお茶羅といふのを始めとして朝吹氏と多少の因縁を有する者ばかり。オヤ〳〵これは

◆亦乘せられた と思つてゐるところへお茶羅が銚子を執つて朝吹氏の前に坐ると豫て牒し合せてあつたのか井上侯が『さうして見ると何か二人は懇意なのか』との仰せ、するとお茶羅は待つてましたとばかり『妾と朝吹さんとは書生時代からのお馴染み――』と語り出したので井上侯は『それではお茶羅朝吹に大いに奢つて貰へ』といふやうなわけで到頭芝居を奢ることになりお茶羅が知つてゐる限りの人と共に芝居見物に行つたので當夜の宴會費の外に三百圓近くの金を出させられたことがあつたさうだ

梅一輪

照つたり曇つたり心定めぬ雲のたゝずまひを眺めながら、カチカラスの巣を三つも大事さうにさゝげながら西風にふる〳〵つと身顫ひをして居る大きな落葉樹を目あてに旭町二丁目を上り詰めた所、朝鮮銀行の舍宅に井上營業課長夫人をお訪ねした

◆先客の安倍さん細君さん 論酒な日本間の應接室には

の兩夫人が淑しやかに控へられた間を物馴れた應對振りを見せた嘉壽子夫人のしなやかな白蠟細工の樣な手が忙はしく卓上を斡旋する『まあ―お一つ如何でございます』遠慮し入られて『あて、ごらんなさい』眉の長い黒目勝のパツチリの支那好みの急須からお茶が注がれる、お茶菓子が出る、香の高い珈琲が運ばれる『主人は生れは南方の郷人會に招かれる……』

◆いつも南方の郷人會に招かれるは何處で育ちましたから

『私の郷里？何處と見えまして？あて、ごらんなさい』

▽趣味は所謂多方面で ございますが何んでも生噛りで物になりません、鎮南浦におりました時分は……＝井上朝鮮銀行營業課長夫人のおはなし＝

こしたクラブ白粉の廣告畫の美人が拔け出した樣な其の明るい顏立ちに人を外らさぬ愛嬌を見せながら優しく反問した、男だといゝのですけれど女の兒が二人居ります大

◆あつても病氣でもして

◆今から一人位男の兒が きい方が今年から學校行きなので、でももう諦めて居ますわ』總ひいけなくなりましたら却つて思出の種ですもの』とは言ふもの、物足らぬ淋しさが美しい目許に漂ふ『趣味は所謂多方面でございます

が何でも生噛りで物になりません、鎮南浦に居りました時分は時に習いましたが

◆大同江畔の夫人が俳句を 奧樣方西崎さん御夫婦がお集りで會を申すのがございまして、郵便局長、税關長、堀さん其の外の各が俳句だの狂歌だの盛なものでございましたが京城へ參りましてからはお居間と臺所に囚はれて殆ど遠ざかつてしまいました、お生花は一體私は型に嵌つたのは好みませんで盛花とか文人挿の樣なものの方がいゝと思ひます』夫人は嚴父小田切滿壽之助氏の實業家の妻女は實業教育を修めねば夫の事業に理解が薄いと云ふ主意から

◆和田垣博士を校長に持つて 麻布市ヶ谷の女子商業學校に學んだ、實業家の妻として適はしい快活な夫人の頬には生を樂む喜びの色が溢れて居る▼家庭は嘉壽子夫人と長女愛子嬢▼（つゞく）

◆六百の健兒 京城中學校生徒全部職員に引率せられて一日の夜中校門出發雨雪を衝て冠岳山へ夜中行軍を試む……上は出發に際して點呼を爲す、下は校門出發の景

大倉男の重患

大倉喜八郎男は風邪にて臥床中の處肺炎と決し警戒中なり（東京特電）

安東三井倉庫の火災

一日午後七時頃安東縣濱町通四丁目三井物産倉庫より出火同八時十五分頃鎮火せり餘炎は十時頃迄殘りたるを以て警戒を解かず原因は番人詰所のストーブより酒精に引火し大事にいたりたりと云ふも確然せず損害約一萬圓位にて詳細取調中（安東縣特電）

兩炭鑛家取調べらる

▲山口縣厚狭郡沖島炭坑事務所長は三十日家宅捜索を受けたり（福岡特電）▲佐世保加納炭坑主篠崎延吉も三十日取調べられ同地檢事局に拘引されたり（佐世保特電）

健兒六百夜中行軍

▽京中の壯擧

京城中學校にては既報の如く職員に引率せられた六百の健兒が夜中行軍を爲すべく一日夜十二時校庭に參集し大尾校長指揮の下に十二時出發

◆校門を出で 道を義州街道にとりて南大門驛前より龍山練兵場を經て漢江橋上に至りこゝに廿分間の休息を爲した、再び出發の喇叭を合圖に列を整へて軍歌も勇ましく行軍を續けたこれより始興街道に入る、折々霙は目をかすめて飛び加ふるに生暖かい風さへ吹いて

◆恰も春の夜 のやうな心地がする、兎角する内に紛のやうな淡雪が降り出して來た、何れも外套の襟を立て頭巾で深く顏を蔽うて進む中雪はやがて頭上へボツリ〳〵と落ちて來た、路は次第に細くなり或は上り或は下る、折々

◆殘雪を踏み 滑つて轉がる者も在つた、其の都度喜々とした笑ひ興ずる聲は頗る元氣よく寒夜の靜寂を破つた、斯くして冠岳山の麓近くに達した。下界は泥濘として眠りに落ちて居るが山上に集まれる頃から降り出した雪は遂に

◆細き雨と變 じて途々濃霧の氣分に包まれてしまつた、暫く休息の後列を整へ始興を差して下山の途に着いた、下り路も可成辛かつた、決して樂な路ではない谷を越え畑を越えて始めて村に着いた時分は早や東の空は微かに白みかけて居た、そして此所には一行の喉をとる爲めに既に

◆松葉の用意 がされてあつた、やがて喇叭を合圖に火は點せられた、こゝに六百の健兒は暖をとりつゝ用意の辨當を開き大いに喰ひ大いに談じた頗る愉快に歸途は冠岳山の雄姿を右方に眺め、勇ましく漢江の堤を縱て龍山に出で麻浦の渡り順路恙なく歸校した

小火騷ぎ

一日午後三時三十分頃京城南山町三丁目十三番地下宿屋永徳旅館事中出滿芳太郎方の煙突の破れ目より漏火して天井に燃え上り大事に及ばんとせるを消防隊が出動して消し止む

商況

東京期米特電

一日前場 二十五圓二十九錢 二十五圓四十錢 二十五圓二十三錢

兵庫期米

大阪三品特電

大阪株式特電

大阪期米特電

下關期米電

雜報

綿糸布小康

二日の大阪三品は當限二百二十五圓四十錢先限二百三十八圓九十錢にて現物も十六手二百〇二圓五十錢二十錢方高綿布は鮨シ十四圓三十錢方下落

乃至十錢安

三銘十圓六十錢と同事なり

石油は高模樣

石油は需要の好調を報じ品薄の爲め……

五十錢方値上

今回又々

新期買附の契約

迄は困難

十圓三十錢以下

絶對に手放さぬ方

燈油

針

正米氣強し

引上

下關相場

▲朝鮮米受保合 白米五月五十八……

南大門の廻穀

水原米	一八叺	十七圓五十錢
同	十二叺	十六圓

仁川正米

地搗玄米十九

市場雜觀

▲昨後場は大阪前止二十五圓三十錢と大暴落……

仁川期米

一二日前場（暴落）

今仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町二丁目 電話長五三〇番

吶綱莚

穀物鑛石海産物用叺及荷造用莚各種 大田本町二丁目 箕浦商店 長電話五二

人氣は大浮動狀態

立會毎に人氣盛を呈

仁川米取引所

二月の三月限

白米標準値 二十三圓三十錢

小賣白米

一等白米	二十三錢五厘
二等白米	二十三錢

昨氣配は忽ち三十錢高

依然持合唱

實際賣買

多少上値

移出糠好況

約三十錢方昂騰

金物類區々

先約定物の輸入多

平板は鉱力板の模樣

眼先引締め

レヨーベル昂騰

産地より搬出不能

一二三圓方を引

白米引締まる

一打に付約一圓方を引上

引締め市中卸値二十三圓三十錢

釜山穀物（一日）

一圓三十錢より上六七十錢

▲釜山水産市場

仁川期米

二日前場（暴落）

兵庫二十五圓二十一錢 東京五圓二十九錢 兵庫十五錢 中五十五錢より賣物多く四十三錢と低落

今仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話二八二長二八三 電略シ又は（カクシ）

今仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 自宅電話七〇番

大阪期米

一日後場 ……止め不勢の散會を告げたり

天 曇時々小雪（二日午後六時迄）

浦鹽現下の状況

（五站枕木解放の期）

過激派騷擾を傳へられ一時は一大混亂を演ずるに至るやも計られざるが如く報ぜられつゝありし浦鹽は最近當業者の談によれば實際は報ぜられし程の重大なる狀態にあらず同地の過激派一味は昨年來に於ける同黨敗散の悲慘なる事情を鑑みて恐らく事を舉ぐるが如き事態に迄は至らざる可く去る十三日日本軍艦入港以來は益々常態に復し一時危急を傳へられたる日本居留民の引き揚げ云々の變事は同地在留民自身には殆んど思ひもよらざる想像にして昨今留相場の昂騰あれば直ちに取引盛んに行はれ居る有樣なり又北滿特產物の浦鹽輸送の途絕えたるは噂によれば聯合國政府の內々の依賴によりて支那政府の拒び居る模樣なるが單に浦鹽方面への輸送と云ふも一つはエゴリシヤに在る東支鐵道倉庫に入る貨物と他は浦鹽引込線倉庫に入る物とあり前者は浦鹽市場に於いて取引する能はざるものにて直ちに船舶にて輸送する物貨にして後者は一封度に付き三十三哥の課税品にて東支鐵道運賃政策に由らざるものなれば露領住民の需用に充つるものにて殆んど小麥を主として居るがエギリシア倉庫品は輸出物貨にして露領に入らざるものなれば目下ポグラニイナヤに於て支那官憲のため輸卸を強制せられ滯積し居る北滿特產品は近く支那政府に於いて上記兩者の性質を了解する時期に於いて解禁せらるゝものと察せらると

長春經濟便り

▼露貨は先日（一週間以前）七百五十留（金百圓に付）の高値を示したるため、在來弱氣勝なりし邦人は一齊にウリ聲に出でたるが、何分にも底弱の性質なる露貨なれば流石に此の五十代にては手合せつかず、六十代となりて大分動きたるが、反動は即日現はれ昨二十八日前場で先物八百十一留迄下落したるが、前の七百六十で味を占めたる連中は忽ち強氣に出でたるため本二十九日前場は又々三十留を躍り上り、後場に於ては更に現物七百六十、先物七百八十と云ふ姿を見せたるも大體に於て先弱なるは否み難き所なるべし、去る二十四日には、哈爾賓東支鐵道代表者と露西銀行當事者と商議の上、現在の市場に於ける露貨缺乏救濟のため一千萬留を發行し種類は小貨にして十留、五留、三留、一留、五十哥、二十哥、十哥の七種に限り哈爾賓、浦鹽、海拉爾、長春等に流通せしむる筈なるが是等が亦先弱の材料たるべきか

▼長春取引所信託株式會社は去る廿七日午後に滿鐵地方事務所に於て第四回株主總會を開催して今期の決算報告をなせしが其の營業成績報告左の如し、當期純益金二萬八千六百四十八圓四十錢、前期繰越金二千二十七圓五十錢、計三萬六百七十五圓九十錢、內法定積立金一千五百圓、命令積立金三千圓、特別積立金五千圓、株主配當金七千五百圓（年一割二分）株主特別配當金二千圓（年三分弱）役員賞與金三千五百圓、後期繰越金八千百七十五圓九十錢なり

▼長春市場株式會社は去る二十八日長春俱樂部に於て株主總會を開き第二回決算報告を行ひたるが創立後日猶淺き同社としては先づ好良の成績にて創立費は全部償却し盡したる事情なり營業成績左の如し、純益金九百三十六圓二錢、法定積立金五十圓、別途積立金、償却金七百八十一圓五十錢、後期繰越金五十四圓五十二錢なり

哈爾賓皮革（況情）

東支南部支線の貨車停滯のため目下哈爾賓に在る製革類は在庫品甚だ多く其の內にも米國製及び奉天製キッド皮の品が主位を占めをれるが南下停滯は兎も角西方行きの如き殆んど數ふるに足らざる狀態に在る所以は滿洲里迄は殆んど安全に送り得るも其れ以西は過激派の勢力強く列車通行中に於てさへ一大仕掛の略奪掠奪に遇ひし例もありて殆んど資物の途止まり居れりため目下の哈爾賓に於ける皮革相場は當長春に比して約二割方の下落をなし諸銀行も殆ど困難を見越して荷爲替取組に應せざる有樣なりため奉天製革のキッド皮は目下全く北上の途絕え居るが然しキッド皮は戰後に於いて充分に見込あるも牛皮製革を專門とせる京城の朝日製革の如きは昨年度の盛況を再び戰後に於いて見出すは恐らく困難なるが如し、牛皮のボックス並に山羊皮製のキッドは共に昨年中頃より大分痛手を負ひ居れるがキッドは如上の見込もあれば講和說を見越して近く景氣付くべきもボックス皮は元來露人のあまり好まざるが上に重量非常に高まる爲北地向として元來芳しからざるが米國製品は多少需用あり目下の製革相場は熊印象皮（底皮用）百斤に付神戶相場百六十圓代にして昨年一月に比し約四十圓の下落なり明治製革會社製の鳳凰印の底皮は目下百五十圓なれば一年前よりは同じく四五十圓の下落を見又茶キット一尺平方昨年一月一圓八十錢のもの現今一圓六十錢同じく米國製黑キットは昨年初めより一呎平方に付き十錢上りにて一圓［illegible］又山陽地方の和製品ボックスは同一呎平方が昨年初めに比して二十錢高い八十錢となり居れり此のボックスの需要は［illegible］方面の需要に［illegible］して歐米輸出に由る一般の［illegible］露國方面の需要は甚だなきは［illegible］而して解氷期ともなりて松花江の航行自由の季節に入れば過激派騷擾が現狀に如何なる形勢を持續するや否やの模樣により捌き口を得るべければ相應の値段を出すべしと

煙草耕作前途

（約十倍に增加の見込）

度支部專賣課大田出張所管內に於ける大正七年度の煙草耕作豫想地なるものを聞くに同管內の耕作地は主として全北任實、全州、の兩郡なるが同地方は古來在來種の耕作地なるも米國種ホワイト、バーレー種の栽培を獎勵したるは大正元年を以て嚆矢とするものなるが最初の成績良好ならざりしため在來種に比して收益品質價格共比較的良好たりし爲め近來漸く其の有利なるを自覺し來り七年度に於ては其の作付反別も非常に激增する見込みなるが就中任實郡烏川面、新平面の如きは一般耕作者の意氣込み頗る旺盛を極め居れり昨年烏川面に於ては本圃の發育頗る良好なりし爲めて內地人にして反當六十圓朝鮮人五十圓の收穫を舉げ得たるものあり昨年に於ては苗不足又は耕地不良に基因する事情斯くの如きを以て內鮮人共の爲め豫定の作付を爲し得ざりしものは其の收穫の成績に鑑み作付反別の不足を遺憾とするもの多しに隨つて昨大正六年の作付反別十一町步に過ぎず旱害其他の故障に依り實收したるは六町步內外に過ぎざるも七年度に於ては約五六十町步に增加する見込みなりと

客臘大連貿易

大連港十二月中の輸出入貿易總額は二十三萬四千三百四十七噸にして內輸出十六萬一千九百九十四噸輸入七萬二千三百五十三噸にして之を同年十一月に比すれば輸出に於て一萬七千九百九十四噸を減じ輸入に於て三千八百三十噸を減じたり輸出の主なるものは石炭三萬一千二百三十噸大豆一萬四千九百八十四噸豆粕六萬三千七百六十四噸豆油一萬五千二百十二噸其他小豆、高粱、柞蠶、鹽、木材、金物、油類等にして仕向地は日本內地へ十萬一千五百六十八噸朝鮮へ八千八百九十八噸其他支那南洋米國等なり輸入品の主たるものは枕木、鐵鋼類、原料鐵金物類、米、麥粉、砂糖、野菜、容罐等なり

製粉專務曰く

松花江沿岸の大野產地

奉天通過北行せる北滿製粉專務［illegible］井松之介氏曰く哈爾賓に於ける製粉會社は［illegible］日本人の經營になるものと露國人及び支那人の經營になるものとあり［illegible］露人側は［illegible］製粉能力一日［illegible］次いで支那人側［illegible］れども他は皆一千石以下の小規模に過ぎず、元來北滿［illegible］附近の松花江沿岸の大平野は［illegible］大農產地にして開拓地は現狀のまゝに收穫を舉げ居れるが［illegible］下流哈爾賓の東北、西北、北部の地方には一度野草を［illegible］肥沃なるのみにて［illegible］容易なれば今後支那人の移住增加に伴ひ［illegible］して此の地方開拓さるゝに至らば小麥の生產額の激增を見るは［illegible］來小麥粉としての味はわが北滿產を最とし色は稍々黑けれども粘氣も亦強き爲め麵類原料として歡迎されつゝあり上海製に比し袋に二三十錢は價格に於ても［illegible］

鮮語教育急務

大田教育會の計畫

大田に於ては近來人口の增加に連れ內鮮人の交涉漸く頻繁を極め日鮮人に對する國語教育は漸次普及せられつゝあるに拘はらず未だ內地人に對して朝鮮語教育の機關なき爲め一般有志者の深く遺憾とする處であるのみならず內地人にして府道郡若しくは裁判所等の試驗を受くるに當り最も必要なるは鮮語なるに其の教育機關無き爲め可惜有爲の青年をして其の目的を達せしむる事困難の事情ある等鮮語教育機關の急務を叫ぶもの漸く多し爲めに大田教育會に於ては近き將來に於て夜學校又は其の他の形式を以て相當の設備を爲すべく目下計畫中なりと

大連仁川取引

十二月中に於ける大連仁川兩港間の輸出入額は約一萬噸にして內大連港より仁川に仕向けたるは主として石炭にて七千六百四十八噸に上り仁川より大連に輸出せるは白米及び雜穀等二千餘噸なり猶同月中大連港より朝鮮各地に輸せる總額は八千八百九十八噸にして滿鮮貿易の著しき好調を示せり

冬季と汽車

（ボックス改良の必要）

［illegible］車輛係某氏の談に曰く列車に附帶せるボックス內の［illegible］改良は數年來の懸案なるも［illegible］不便を感じつゝあり［illegible］中の油凍結し［illegible］にブラスの破損は一箇月を通ずれば驚くべき數を示し昨年の如きは此の原因のために沙河口工場に修繕のため入場せる貨車三百五十車の多きに昇り本年は昨年に比し平均溫度割合に高かきに拘らず當地車輛係に於て毎日二十車の修繕をなすために車輛係員は殆んど徹宵就業しつゝありて沙河口工場よりも技術員來撫し舶來の油を使用し種々の方法を講じて試驗せるも何等の效なかりし如くならざる由なれど何とか良方法を發見しボックス內の油凍結を防ぐ事を得ば莫大なる利益を得るのみならず一個年を通じて最も貨車拂底を感ずる季節に於て斯の如き不便を生ずるは大なる［illegible］

奉天は暖かい

然し未だ安堵は出來ぬ

奉天の此の冬は非常に暖かいと云はれて居る二十七日は午前の最低［illegible］四度朝の最低が［illegible］小春日和のやうな氣分になつた、今年の冬も或はこのまゝで無事に通過するかも知れぬ、しかし例年一月末から二月上旬には必ず猛烈な絕對最低氣溫が來襲する例があれば今のまゝで安堵されたものでもない奉天の寒さは二月中旬頃から復活して來るが此の頃からは氣溫はグン／＼上昇して三月四月にかけては益々上り五月にかけては天を蔽ふて吹きまくる黃塵萬丈、しかも毎日のやうに吹いて來るから堪つたものではない、これは急に滿蒙の大陸が熱せられるので低氣壓が出來自然毎日の方から風が押しよせるので毎朝の十時頃から午後の三時頃まで吹く去る廿六日も蒙古方面に極く低い低氣壓が生じた爲め奉天は猛烈な南風に見舞はれたのである（奉天觀測所）

山西ペスト實況

［illegible］山西省大同附近［illegible］

馬賊に襲はる

被害金額一千餘圓

吉林居住材木業吉林商會池田勇氏は材木視察の爲め松花江上流樺甸縣及び濛江縣地方に旅行中頭道江と二道江の合流地點より四十支里下流（吉林省城より橇にて五日行程）たる樺甸縣嚴子に於て一月十九日午後五時支那宿に滯在中八名の馬賊より所持金及び携帶品夜具被服全部を略奪されシャツ一枚にて三日間寒飢に苦しめる事あり吉林製材公司地方に旅行中なる鴨綠江製材公司吉林支店の主任三郎氏此の變事を聞きつけ態々七十支里の下流より池田氏の旅館に至り衣服及び防寒具を貸與し橇に同乘せしめ幸に生命を全ふして當地に引揚げたり此の騷ぎに一般の材木業は勿論［illegible］地に投資せる者等は非常なる恐慌を來し殊に被害當時の實況［illegible］思しき點ありと云へば我が領事館に於ても愼重調査したる上嚴重なる談判を爲す筈なりと

齋藤製粉計畫

曾て朝鮮財界一方の雄鎭たりし齋藤久太郎氏は數年前より大連に於て油房の經營を爲し來れるが近來豆油豆粕の昂騰にて業務益々擴大し各方面に投資し居れるが近く鎭南浦或は京城附近にて一大製粉場を設け大々的經營を爲すべく目下夫れ／＼計畫中なりと

仁川期米

▲五日後場 大阪の下寄りを受け當地は中二十一圓四十四錢先二十一圓五十錢と十二錢安に寄付たるも買物多く［illegible］

一日の四十八限 ［illegible］

授與式

栃木山守也織組假免狀授與式は一日小石川［illegible］

連絡船上陸客 二月一日

［illegible］

暴風警報

（二月二日午前十時發）

▲警文風強かるべし ▲示度東北東 ▲氣壓［illegible］ ▲警戒區域［illegible］

豫報

［illegible］

京城溫度

［illegible］

廣告

商業登記公告

［illegible］京城地方法院

法人登記公告

水原金融組合 ［illegible］大正七年一月［illegible］日登記 京城地方法院水原支廳

節酒廣告

僕生來頗る酒を嗜む然れども近來忽ち酒に呑まれ亂醉默癖を弄するの傾れあり自今如何なる宴席に於ても獨酌節酒一切獻酬を廢止す先輩交友諒察を請ふ焉

二月二日 大垣丈夫 謹告

驚くべき金儲あらはる

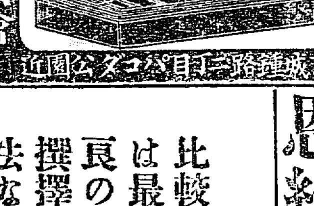
小資本にて確實に最大利益有は新案理想的暗室活動寫眞器械にして鮮明なる映畫を自動的に投寫し［illegible］

說明書進呈◉ 東京市淺草區藏前通八幡町八番地 製造發賣元 大澤商會 振替口座東京一六六八八番

川合時計店

京城本町二丁目 電話二九一一 振替京城一二二九 川合時計店

ミシン



新古ミシン賣買 修繕・賃貸 部分品 針並油一式 ［illegible］ミシン商會

謹告

今般永樂町二丁目松岡質店廢業に就き同店質物全部を讓受け候間同店と御取引の各位は今後弊店迄御光來被下度此段謹告仕候

大正七年一月三十日 京城明治町二丁目五四 片山質店 電話二六五二

白神洋行

鐵材 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘 ペイント、油類一式 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他 新田帶革總代理店

今井運商店

［illegible］取引所仲買人 今井運商店 ［illegible］

▽朝鮮名物△

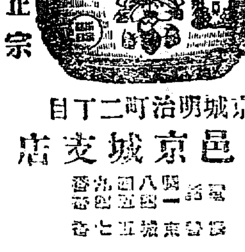
金剛飴 金剛山 京城本町 電話二十七七五番 龜屋

岩崎醫院

內科 小兒科 診察 自午前八時 至午後九時 岩崎醫院 京城南米倉町（穀物市場入口） 電話二七六一番

サクラ正宗

比較は最良の撰擇法なり!!



サクラ正宗 サクラ正宗 京城明治町二丁目 山邑京城支店

恩給年金

恩給年金 五年 ［illegible］

沖野米三郎商店

株式定期取引誠實機敏に取扱可申候 東京株式取引所仲買人 沖野米三郎商店 東京市日本橋區阪本町拾八番地 營業案內證據金表御申越次第即時御送呈可申候 電話長九三七 長二二八五 浪花長四六四四 連四六五七 電信略號オキノ 多少に不拘御用命の程奉願上候

山田病院

內科 小兒科 呼吸器病 胃腸病 喘息 リユマチス 山田病院 院主 山田萬作 京城本町二丁目四十五番地 電話一八八〇番

岩田鞄店

旅行具專業 岩田鞄店 京城本町二丁目 電話五九四番

佐藤半次郎商店

○嚴彈○ストーブ ○魔法瓶中瓶取替 地方御注文は特に便宜御送付可致候 朝鮮京城本町三丁目 和洋金物商 佐藤半次郎商店 電話二四 振替口座京城一二三〇番

漢湖農工銀行

資本金壹百萬圓 京城 株式會社 漢湖農工銀行 支配人 遠山熙 不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候 支店所在地 開城、春川、江景、公州、清州、忠州、論山、大田、鐵原、鳥致院 普通銀行業務は確實親切に御取扱可申

左甚五郎

第百五十七席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

兵藤平内が廿五兩の金を出して無銘の刀を求めると云ふが、此の刀は相州物には違ひないが、彦左衞門村正の刀でございます、此の村正の刀は徳川家へ祟つて家康公の祖父清康父廣忠の兩名が村正で命を落しました、其故徳川家では此の刀を禁じられまして、徳川家の侍に村正を帶する者はございません、それを知つて居る兵藤平内は我がお番料に爲やうと思ひ研を掛け作へ萬造謝へたが、何うか斬れ味を一つ試して見たいものだ、犬なぞを斬つては刀の穢れとなる。願くば生胴を試して見たい、昔から試し斬りをした者も幾人もある、から今夜出懸けて往來の者を試して見やうと、兎角若い時には心得違ひはあるもの、殊には充分醉つて居りまするから、其の勢いで我が家を出懸けて吉原の中田圃へ來て往來の者あれかしと待受けて居る。未だ宵の口でありまする故チラリホラリと往來をする者がある、向ふから來たのは一人の爺、平内是を見て平『ウーン六十ばかりの爺だがもう此の世の中には用はあるまい、斬て捨た處で仔細無い』と刀を抜きかけた時に彼の爺は獨語『爺あゝ大分遲くなつた、定めし孫めが待つて居るだらうから早く歸つて孫を喜ばせて遣らう』平『ウム倅は此の爺孫があると見える、此の爺を殺したなら家に待つて居る孫が可愛想だ、此の爺は廢さう』と云つて居る内に知らぬ佛の爺がスタ／＼行つてしまふ。間もなく向ふから來たのは廿二三になる男、此奴は頑丈盛んの若者、斬るに頃合があつて宜い』と平内後へ廻つて斬付けやうとすると、彼の若者が『男早く歸つて親父に是を喰にして遣りたい、年を老る親父は外に樂みは無いものと見え、寢ねて俺の歸りを待つて居る、親父の喜んで喰べる顔を見るのが何よりの樂みだ』と聞いて平内後へ退つて『イヤ感心な奴じや、何か買つて持つて行つて親父に喰はせやう』と云ふは親孝行な奴だ、慈ういふ者を殺しては天道へ對して濟ぬ』と止つてしまふ、そんな譯であるから其れ限りで其の晩は戻つた然う考へた節には一人だつて斬ることは出來ません、恰度三晩目のこと、相變らず平内は中田圃へ參つて今夜こそは何でも斷行なければならんと刀の柄に手に掛けて左右を見張つて居りました、程もなく向ふから來かゝる一人の老人、杖を突き小田原提灯を提げてスタ／＼參りました平『オヤ此奴も老人だ、腰は少し曲つて居る樣子、服裝の作りは何うやら侍の樣子だが、何んでも構はん此奴を遣らければ遣る者は無い』と思つて居る内に彼の老人はかゝることのあらうとは少しも知らず足を早めて二三間出越す、平内が後方からバラ／＼と驅出したる平内が、平『爺待てッ』と聲を掛けると彼の老人は振向く、途端に斬付けたる村正の一刀、哀れ老人は眞二ツともなつたかと思ひきやヒラリ體を交して内に空を打せ、賊さうといふ手き腕を取て捻上げ肩に擔いで矢聲と共に二三間向ふへ投付けた起上らうとする平内を捉つて押へ、老人『ヤイ物影より物をも云はず飛で出て斬付けるは何者だ、取て見れば若い侍、汝は刀試しをする奴であるか、未熟な腕前を以て無暗に往來の者を殺めると云ふは怪しからん奴だ』と上へ馬乘りに跨つて腿へ付ける、平内は大力な男だから下から刎返さうとしたが身動きも出來ません、平『イヤ御老人御免なせい何卒お手對ひをいたしましたが、貴下のお腕前には恐入りました、何後斯樣なことはいたしません故何うぞお見逃しを願ひ度うござる』と云つた時に彼の老人は平内の樣子を見て脚を捉つて引起しました。

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目(本町より入る中程)
入院隨意 電話二一〇二番

御用絹 7 京染呉服商店 たまや出張 京城永樂町 電話一九六六

二月四日 九星
舊十二月廿三日 壬午
本命七赤 西取 佛滅

演藝案内

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 京阪落語若手一座 二月一日より開演 語樂會

壽館 京城本町 電話一〇五〇 當る二月二日午後五時開演 喜劇 我廼家 笑劇 悲劇 心の錦 ゴリラ見物

壽座 京城 壽町 電話五七八番 當る二月一日より午後五時開演 少女芝居大黒座一行

大正館 櫻井町 電話八七三 當る二月一日より 鐵の爪 夕刊賣

有樂館 活動寫眞常設館

黃金館 電話二三六七 二三六六

稻荷座 本町五丁目 花節身振芝居 市川圓之助一座

大正館 初日八時滿員御禮 三莊太夫 鐵の爪 夕刊賣

輕便小便袋
濕疹症、俗に云ふ小便の人は◎小供及び乳児を持てる、母親は◎病人、又は老人のある家庭には◎必ず本品を備へられよ
中西ゴム商會

流行燈務
特價金九圓也
京城日報社代理部

羽毛類各種
高價買入
鶴鴨鷺雉鴇 特子 尾 は高價買入申候
東京市下谷區上車坂町一 神田商店 電話下谷 六三八五番

御用 全生 牛乳
ニウソ
洗粉 不石
大正牧場 肥塚
東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話五二二番

貴化病院
京城明治町一丁目 電話二四二番
內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 每日五名を限り
醫學博士 古城憲治
岡山醫學士 上野亮藏

皇后宮職御用 名譽ある の…… レート白粉

特長

寒さの折には殊に美くしさが浮ねる

‖最近‖
‖未だ‖
‖夙に‖
‖其上‖
‖夫は‖
‖家庭‖

內科 眼科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前)
附屬 京城肛門病痔疾療院
本田醫院

優等清酒
一鶴
發賣元 本莊酒店

診察時間
初診の御方は可成午前中
自午前九時 至午後六時
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行前)
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

昔 今
大日本大阪 高津
効能で賣れる ひえつきより

產科 婦人科
京城旭町
醫學士 二宮亮吉
二宮院 電話一二〇一番

醇良無双清酒
無害衛生品質無双
福岡縣糸島郡 釀造元 首藤合名會社
發賣元 京城黃金町二丁目 首藤京城支店
釜山港 首藤釜山支店

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎮南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓
出張所 傅家甸、龍井村
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

內科 胃腸病科
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二三七 九二の九番

汽車時間
京釜線(南行) 京釜線(北行) 同 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線 仁川行 京元線(北行) 同(南行)
[illegible]

京城日報

第五版

二月三日朝刊 (夕刊併せて八頁)

遊支偶錄

蘇峰生

(十三)日支の經濟關係

支那にして、若し他と結託す可き必要あらば、何よりも先づ日本と結託す可きのみ。否な其の必要の有無を問はず、對日本の關係は、支那側より見て、甚だ重大と云はざるを得ず。

日本が支那に向て、經濟的同盟を高唱するは、決して閑言語にあらず。若し假りに支那が日本に向て、其の市場を鎖したりとせん乎、日本は如何にす可き。日支經濟的關係の眞相を知らんと欲せば、斯く假定して、其の結果を推究するに若くはなし

日本の工業、製造品が、支那の市場を重なる得意とするは、云ふ迄もなし。然るに若し此の出口を、支那より鎖さるゝに際して、如何に其の苦痛を感ず可きかは、何時も日貨排斥の聲に、其の心臓を寒からしむる、日本商人の態度に就て、之を知るに餘りあらむ。

されど、そはまだしもの事也。支那は日本の原料國也。特に鐵と棉花とは、專ら之を支那に仰ぎ、且つ仰がざる可らず。若し支那より、此の二品を與へざるに於ては、日本は經濟上、全く閉塞の姿に、立ち到らざる可らず。云はゞ經濟上に於ては、支那は日本の死命を、制し居るものと見て可也。是れ一方より見れば、支那の日本に對する勝目とも云ふ可く、他方より見れば、弱目とも云ひ得可し。

有無相通は、前世紀の經濟主義也、自給自活は、現代の經濟主義也。人道の大義より見れば、前者は後者に優る萬々なるも、不幸にして、人道は未だ國際關係を、支配する勢力たらず、勢力たるを得ず、又た勢力たる能はず。而して日本の不幸にして、此の自給自活の原則を、自國丈にては、嚴密に實行するを得ず。別言すれば日本の自給自活中には、支那の供給を算入せざるを得ず。是れ即ち日支の經濟的關係が、他國との關係以上、特種の意義ある所以也。

朝鮮古蹟調査(六)

任那と日本との要衝

今西龍氏談

予うじて殘つた加羅諸國は新たに興つた新羅や高句麗の壓迫を免れんが爲めに援を日本に求めるに至つたのである。此の事は支那の歴史にも書いてあるから明かに判るのである、支那の有樣は東晉揚言、極く勢力の弱い國であつたから、援を求めても甲斐が無かつたものと思はれる。加羅の使は直接日本の大和の朝廷に來たのであるが、之は一寸不思議な事の樣に思はれる。從來日本の豪族と韓諸國とは交通が行はれて居つたのに、何故此の時を以て大和の朝廷に直接使臣が來たかは、單に歴史の上だけでは其の間の事情が解らない。此の時は景神天皇の御代であるが、朝鮮の使臣が直接朝廷に參る事は出來ない事情がある、併し朝鮮では大和朝廷あるを聞いて廻り〳〵して越前國に上陸しやうとの事であつて朝廷に入つた。之は當時の事情として已むを得ない事である。足利時代に於ても朝鮮の使臣が九州に來たが上陸する事が出來ず、海を傳つて若狹に到り京都に入つたと云ふ事もある。加羅の使臣は廻り〳〵して越前の敦賀まで行つて朝廷に入つたのである。是等の點から將へると、當時に於ける半島の形勢を説明するに足ると思ふのである。それやこれやの事情が重つて日本朝廷の團結が强くなつたから、遂に加羅の請を容れ新羅討伐と云ふ事になつたのである。併し新羅討伐と云ふ事が、唯單に金を出せ、貢物を出せと言つた丈けでは甚だ情け無い話であると思ふ。一體朝鮮は當時非常に開けて居たが、日本人は非常に野蠻で、恰もゲルマン民族が羅馬の都に暴れ込んだのと、新羅討伐が同じだと思ふならば大なる謬見である。又唯一時攻めに來た丈けで其の後永く貢物を出すと云ふ事は恐らくあるまい。之は其の後永く日本の勢力が半島に及んで居つた證據であつて、之れあるが爲めに新羅も百濟も貢物を日本に持つて來たものであらうと思ふのである。即ち任那に日本の根據地を置いた結果能く新羅や百濟を抑附ける事が出來たので[illegible]而して任那と日本との[illegible]衝[illegible]の金海であつて、決して[illegible]ない。其れで加羅國の入に[illegible]此所に任那があつた爲めに、日本では全體の加羅を任那と言ふ樣になつたものと思はれる。日本と朝鮮との關係は神功皇后の時代に至つて始めて出來たものではないので仁德天皇の頃には大分朝鮮に日本の勢力が及んで居た。雄略天皇の頃になると振はない。此の頃は日本の個人道德も隨落して居た樣であり堤多い事であるが貴の方の御品行抔も國が振ひ相で無かつた事が歴史の上に見えて居る。先づ日本の朝鮮に對する勢力は、雄略天皇に至る迄を昂盛時期とし、其の以後は段々と衰へて參るのである。尤も是には北の方高句麗の勢が强くなつて來た事や、支那大陸の影響等色々ある事であるから、日本と朝鮮との關係を知らんと欲するには、唯單に日本と朝鮮丈けを見て居つては本當の解釋は出來ないのである。其の舞臺に支那をも入れて見なければ成らない。

青邱詞苑

初春偶目　趙重傑

一路梅花已返魂。春回水郭又山村。前峰猶有未消雪。白了蛾眉半痕。

蓄堂曰　寫景入微、亦才筆也

春日江村　趙重傑

春水溶々浸釣磯。漁家門外白鷗飛。夕陽望入桃花岸。舟白紅霞。

蓄堂曰　一幅畫趣、非老手不能

海邊松　菊池雲立

長松落落帶潮痕。曉日初昇東海外。頭浪千年不掛根。添將瑞色頌皇恩。

蓄堂曰　頌壽之意、自存

ぞうして

布施生譯　五十九

一度さう曉つてから私の懊惱は陽光の前の霧のやうに消え盡して私は未來に望をかけた、假令世界を尋ね廻つても此度別れた妻を探し出さう、よしんば父や兄の手に於て牢屋の中に居るにせよ私は是非共妻を救出して見せる、朗に關はるなどは今はもう問題でにない、そうまで思焦慮つても私は一體何處へ足を向けたら可いのか、何處に妻の行衞を探る糸筋があるのであらう。たつた一つ手懸りのやうに思ふのは妻が私に對する愛情から餘り遠方までは奔りかねたらうと云ふ一事である、瑠璃子が昔の瑠璃子たら恐らく大方住んでゐる此市を離れ得まい、性質が變つたので無い限り大抵此市で看附かる事であらう、手取早い方から言へば警察に頼んで搜して貰ふのが一番だが私は面目上それよりは先づ自分で出來るだけの手段を盡してみる事に心をきめた、そして決死隊の司令官とでも謂ひさうな意氣込で私は無暗に市街を飛廻りもしや通行人の中から別れた妻が看附かる事もあらうかと行き過ぎる程の人々を尋ねて歩いた、しかし其望は畢竟空になつて當に妻に似た娘さへ一向に看附からなかつた。不圖或る時、いや或は浮んで出た、餘り以前もない事だが或夜私は外の外氣が付かないので臥床から飛起き著物を著換へて裏庭に散歩に出た事があつた。勿論此樣事は滅多に無い、しかし其晩は部屋に安靜としてゐると何だか呼吸が塞りさうに思へて仕方が無い。死物狂ひに夜中の散歩と洒附けたが後から聞くとそれが即ち例の小間使が出奔した其夜であつた、あの晩不圖門格子から街を覗くと門外から門内を覗込んで居た別れた妻と面を見合はしたやうに覺えて私はどんなに驚いたかそれは今更言ふまでもない。聞けば其時門外に娘が居たのは實で其娘こそ出奔した小間使だと云ふ事だが成程或はそうかも知れない、しかし當時私はそれを妻の幻影だと考へた、そして街を探るに失敗した後、そう云ふ經驗があつたとて其記憶は私の計畫を鞏固にせしめた、あの時の妻は何だか仕事著らしいものを著てゐたやうに思はれる、して見ると之は上流の會を探して歩くより貧民窟を探した方が可さそうだ、さう思附くと私は説明も出來兼ねる心情で貧民窟を彷徨いて歩いた。

るも同日五毛に保合ひ又每條件及び普通物…萬圓には殆ど取引杜絶の狀態を持續した一般市中銀行に及ばり而して三十一日の金融市場は稍緩和氣配に轉ずる形勢なるも今回市中銀行は月越回收する資金を以て右債券に放資せんと欲する者少…

◉兩銀布哇投資

正金活動著手

…理資本金二十萬弗)の兩會社に對し右會社財産全部を擔保とし七十萬圓の資金を貸付けたる由なるが興業及び正金は今後も邦人の海外…に海外貿易の發展を企畫する方針なりと(東京)…て安んせず今後貿易銀行として歐米諸銀行に遜色なき活動をなし大…

…し其の…は一…三十日京城地方法院にて懲役三年の判決を受く…族は…つ方に忍び入り現金四十六圓…盜を働きて檢擧され…及額面千二百卅九圓預入の銀行貯金通帳外二點を窃取して京城に逃…

本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金六十五錢 … 廣告料金 … 京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社 … 編輯兼發行人 … 印刷人 …

懸賞募集 防寒建築案

解氷期建築の季節來る 内地人住宅の研究改善

在鮮内地人の住宅が、其防寒施設に於て全鮮到る所格段の注意を拂はれたる跡なく、而寒帶地の建築として種々の缺陷を有するは實に遺憾極まる次第である。

今や我朝鮮は漸く解氷に近づき、建築工事の季節に入らんとして我社が『防寒施設建築案』を汎ねく全鮮に募集し、衆智を集め更に其中の粹を拔き、朝鮮半島の氣候に對抗し得る新式建築の範を示したい微衷である、更に爾後朝鮮に於ける内地人住宅建築の研究改善を資せんとするには防寒暖房の施設に特別の研究注意を拂ふ可きは勿論、家屋の構造に當り一面衛生、防火の考案と研究とは最も重要なる附帶問題であらう。防寒、衛生、防火の三要件を具備し、其建設費用は低廉にして中流者の實行し得る底の提案を歡迎する、左に應募規定、提案者諸君の參考に供すべし

應募規定

(1) 一人一案に限る
(2) 應募者各位の提案標準は、應用者最も多き中流家庭の住宅を定則とするも、旅館、料理店等は特別建築として審査詮衡す
(3) 應募者は必ず一棟の平面圖、側面圖及び設計書を附せられたし
(4) 應募者は其設計書に必ず住所氏名を明記せられたし、但し入選の際紙上發表の際は希望に依り匿名差支へなし
(5) 締切期日來る三月十日とす
(6) 發表期は來る四月一日とし一等より順次三等迄設計書、圖面共に京城日報紙上に掲載公表す
(7) 應募者は『京城日報社編輯局建築案募集係』と記し封筒表に必ず『防寒建築提案』と朱書ありたし
(8) 提案原稿は返戻せざる事を豫め承知あれ

懸賞規程

本社は今回の舉に贊成し應募の防寒建築案にして審査の結果入撰したる一等より三等迄四名の諸氏に左の割當を以て我社は發表の當日懸賞懸券金を贈呈す

一等(一名) 金百圓
二等(一名) 金五拾圓
三等(二名) 金拾圓宛

審査委員決定

現に京城に在りて建築、衛生、防火等の職務に從事せらるる左記列擧の專門大家各位は我社の審査委員として一般提案審査の任を承認せられたる事は我社の光榮として各位に感謝する所である

◇審査員長
朝鮮總督府醫院々長 芳賀榮次郎氏

◇建築審査員
朝鮮駐箚軍附陸軍技師 池田賢太郎氏
朝鮮總督府技師 國枝博氏
朝鮮總督府技師 岩井長三郎氏
朝鮮銀行技師 中村與資平氏

◇衛生審査員
京城醫學專門學校教頭 佐藤剛藏氏
京城醫會々長 和田八千代氏

◇防火審査員
警務總監部保安課長 國府小平氏

愈々出でて愈々面白き本誌の二月號

朝鮮公論

戰後の工業競爭と對策…山(?)博士
當林廠の新發展と能力增進法
朝鮮の滯貨と新施設…安藤
事業家と資本家との提携
議會スケッチ
強國の權威
我社の新年
朝鮮殖産銀行の利害得失
朝鮮總督府の豫算綱要
溫泉に浸して…石橋生
東拓鮮銀中樞人物論…有馬易水
朝鮮の農事經濟は須く積極的たるべし…青木戒三
若い氣分に返つて…阿部充家
最近鑛業界
歐洲大戰亂が生んだ新組合新帝國
冷言一事(朝鮮政府委員を戒む)…牧山社長
道長官の新抱負(政治の要道と中樞院)
農林事業の改善を期す
北韓の七大事業…桑原八司
滯貨と鐵道
鮮滿を背景として
公論餘滴
公論文苑
李王世子殿下の御歸鮮
當代課長總まくり(二)…迂人
朝鮮に發見された新植物染料
戰後立國の大眼目は何ぞや
呂之助と花奴
花柳病の話
棧橋ロマンス(哀話を聽け)
現代成金物語
朝鮮の發展は今後に在り…三島太郎

購讀申込所 京城 朝鮮公論社 振替京城一五七七番

定價三十錢 郵税一錢五厘 六冊前金郵税共一圓八十四錢 十二冊前金(同)三圓五十八錢 全國各地の書店に在り

高級婦人界の讀物

婦人公論

今期議會と婦人
新女子大學
新橋の髮結お愛さん
長編小說
白粉の化物
淚で濟した
婦人運動の
日本婦人の

中央公論社

京城電氣株式會社 瓦斯コークス
一手販賣所 京城南大門通五丁目 越野商店
御小賣共廉價にて販賣可仕候特に地方は迅速に御取扱可申候

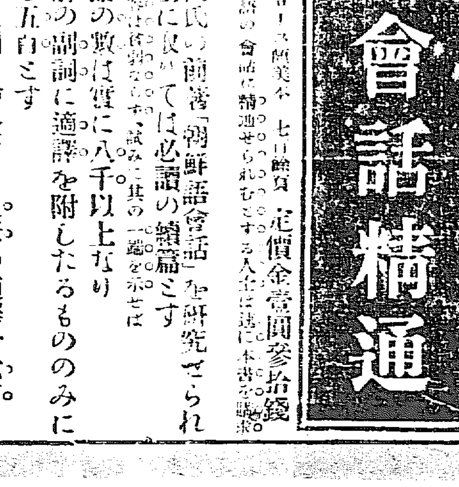
日鮮會話精通

朝鮮總督府裁判所通譯生 西村眞太郎著

定價金壹圓參拾錢

一、世に國民の師表「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の詞詞に適譯を附したるもののみにても五百に達す
ハ、内鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る

發行所 京城日報社代理部



公示催告

大正六年(ヘ)第二八三號

京城府南大門通五丁目百二十六番地 申立人 小事 林源六

[illegible]

大正七年一月三十一日

京城地方法院

第四十回帝國議會 (東京特電)

貴族院(二日)

▲共通法案委員會

貴族院共通法案委員會は二日午前十時五分開會引續き大體論に就き江木翼氏と有松法制局長官との間に問答ありて逐條審議に入り第一條及び第二條に就き質問應答を重ね未了のまゝ正午散會

▲各派交渉會

貴族院各派交渉會は二日午後一時より開會衆議院より交渉せる憲法發布三十年祝賀記念會開催の件に關し協議を爲し本年は滿二十九年なるを以て明年滿三十年に達するに際し開催するを至當と認め其の旨衆議院に回答することゝし同二時散會せり

衆議院(二日)

▲本會議

衆議院二日午後一時十五分開議諸般の報告あり直ちに日程に入り足尾鐵道及び有馬輕便鐵道の買收に關する法律案後藤總裁より提案理由の說明あり高木益太郎氏より今後尚ほ私設鐵道を買收する計畫ありやと問ひ後藤總裁は必要に應じ更らに買收案を提出するやも知れず但し買收大計畫案は無しと答へ鐵道布設法中改正案委員に附託、次ぎに日程を變更し豫算に關係ある登錄稅法中改正法律案に就き勝田藏相の說明あり九名の委員に附託、朝鮮事業公債法中改正法律案、樺太事業公債法案の二案一括附議勝田藏相の提案理由說明あり九名の委員に附託、未成年者飲酒取締に關する法律案、根本正氏說明九名の委員に附託森林法中改正法律案武藤金吉氏說明九名の委員に附託、元田歩兵扶助に關する法律案東武氏說明九名の委員に附託、東方調査局設置に關する建議案伊東知也氏說明九名の委員に附託、輸出絹織物檢査所設置に關する建議案、隅田慶吉氏より提案理由說明あり九名の委員附託となり午後二時半散會

▲委員會

衆議院は二日埠頭稅委員會、裁判所設立法案委員會、貨幣法改正案委員會、豫算第一、第四、第六分科會を開催せり

○露國陸海軍の暴動

形勢重大=將校射殺さる

キール軍港に於ける太洋艦隊乘組員及び東部戰線に在る五十六聯隊内に重大なる暴動起り五六の將校(内將官一名)射殺されたり(ストツクホルム電報)

○トロツキー捕縛說

露都よりの報に依ればセメノフスキー聯隊と赤色近衛軍との間に戰鬪起りスモリヌイは占領されトロツキー捕縛されたりと(哥本哈根電報)

○芬蘭社會黨の擾亂

露軍隊援助=假政府設立

芬蘭社會黨は露國軍隊の援助を得て首府ヘルシングフオルスを占領し政府を顚覆し一月二十九日勞働黨代表者より成る假政府の設立を宣言したるが各地方にて舊政府軍と社會黨との間に戰鬪あり同國と露都間の連絡不通と成れり瑞典政府は居留民保護の爲め二月一日軍艦二隻客船二隻及び碎氷船を派遣するに決せり(ストツクホルム電報)

○南軍沙市に迫る

譚浩明氏の率ゐる南軍は進むで沙市に迫り一月二十七、八日の形勢に依れば沙市は危險に瀕せ[illegible]若し沙市陷落せば武昌、漢口地方も危殆に陷るべ[illegible]

○支那關稅收入

我貿易の地位

漢口、上海、汕頭は五年[illegible]收し增收の最多なるは[illegible]にして之を全國に見[illegible]

漢口	一七六七	二四三
上海	一二一四	一〇九
汕頭	九六一	一六三
廣東	一三三二	一〇九

千兩英貨[illegible]十六磅に[illegible]餘の增[illegible]加し[illegible]千餘兩に比すれば幾分の增收なり前段に依れば他各港の多く減收に拘はらず我が重要の關係ある大連[illegible]又外債及び賠償金[illegible]

○南軍總司令前進 (北京特電)

南軍の總司令譚浩明氏は其の總司令部を岳州に進め湖南軍總司令程潜氏も亦岳州に移駐せり其の他南軍は著々前進の形勢にあり

○日本回答

和議に對する

日本政府は英國大使の手を經て法王廳に對し曩の講和提議に答ふる所ありたるが協商側の見解と全然一致すと宣言したり(羅馬電報)

○講和談判再開

獨逸外相キユールマン氏、墺國外相チエルニン伯、土耳古宰相タラート・パシヤ氏、露國外相トロツキー氏、新才利委員は二十九日ブレスト、リトウスクに到着したるが講和會議は三十日より開かれたり(アムステルダム電報)

○四銀行株と割增

三十四銀行の公募する八萬八千株は多分一株十二圓乃至十五圓位のプレミアムを附すべしと(大阪特電)

○美濃部總裁動靜

美濃部鮮銀總裁付秘書役の一行は旅程を變更し三日午前十時半五龍背へ退き小憩後同日午後四時四十五分發列車にて安東通過歸京す可し(安東特電)

○歐洲戰の關ヶ原

刮目すべき陽春の戰鬪

歐洲戰場も獨墺軍がピアヴエ河の線に押寄せた頃から巴爾幹を除いた戰線に深い雪の中に埋まつて冬籠りの休戰を餘儀なくされて居たが春が來て淡雪が解けると獨軍は西部戰線に大攻勢を執るであらうとは聯合側に於ける一樣の觀察である。

▲一樣の觀察 である。米國、英國、佛、伊等の言論界も雜誌も實に此の獨軍來の聲に滿された。是れ言ふまでもなく獨逸が露國と講和を結ばんとするが爲に波蘭の兵を悉く西部に移送することが出來るやうになつた爲である。此が爲め英國で更に四十萬の增兵を必要として居る、米國は更に出來る丈の送兵を行はんとして居る。少くとも聯合軍側では春の獨軍來襲を以て豫報された洪水の前の如く感じて居るやうである、軍事專門家の說に依れば此獨軍來襲の時期は早くとも二月中旬より

▲三月下旬頃 までに行はれるであらうと云ふことである僅か此位の間に果して英國が四十萬の新兵を聚り得るかは甚だ疑問とする。一體敵味方の兵は實にどの位であらうか、此を最近歐洲に於て調べた確實なる數に依ると實に驚くべきものがある

▲先づ聯合側から言へば ▲露國 千六百七十萬人 ▲英國 五百七十萬人 ▲佛國 七百十萬人 ▲米國 百廿六萬人 ▲伊國 四十萬人 ▲羅國 八十二萬人 ▲白國 七十萬人 ▲合計三千二百七十八萬人である、此は勿論召集した人員である。更に之を敵側に就て見れば ▲獨逸 千二百萬人 ▲墺國 九百三十萬人 ▲土國 二百五十萬人 ▲勃國 百十萬人 合計二千四百九十萬人 と云ふことになつて居る、此を敵味方合すれば

▲約五千八百萬人程召集されて居る。六千萬に近い此の大兵の中には死んだのもあれば廢兵となつたものもある、俘虜もある。開戰以來の戰死者は聯合軍側の死傷者千五百三十九萬人で、敵側は六百九十九萬人である。更に俘虜の數を見れば ▲露國 二百五十萬人 ▲英國 十八萬人 ▲佛國 三十二萬人 ▲伊國 三十萬人 ▲白國 六萬人 ▲羅國 二十九萬人 ▲塞國 卅萬人 合計四百十四萬人と云ふ甚太い數である。此に對して ▲獨國 六十六萬人 ▲墺國 百五十一萬人 ▲土國 十七萬人 ▲勃國 一萬人 合計二百三十六萬人である。俘虜

▲東方戰線 獨軍百四十四師團、墺軍六十九師團、土軍三師團、勃軍二十一師團、計二百三十七師團 ▲西方戰線 獨軍百四十四師團、佛軍百十四師團、英軍六十九師團、米軍三師團、白軍六師團、計三百三十六萬人 ▲伊國戰線 伊軍七十五師團、獨軍四十四師團、佛軍六師團、英軍五師團、計九十五萬人 ▲巴爾幹戰線 獨軍十四師團、墺軍四師團、勃軍十四師團、英軍三師團、佛軍十師團、伊軍二十九萬人、塞軍一師團、希軍十一師團、三十五萬人である。此外にアルバニヤ塞軍四萬あり、メソポタミヤ、エレサレム方面に英土兩軍にて約十萬程ある是れ現在の戰線に於ける露國も斯く多數になれば食餌を與ふるばかりでも容易でない。而して此等の大兵力が如何なる配兵を爲しつゝあるか左に說明せば

▲兵の全部で ある、若しも單獨講和を行なはずして四百里に亙る戰線の兵が敗戰せしたならば、或は常に聯合軍が居つたであらうが優勢の兵力を保ち得たであらうが波蘭の獨軍が西方へ送らるゝに至つて事態は破れんとして居る。果して獨軍が温かい春に攻勢を取るであらうか、而してペトンと鐵の力の戰線を果して百萬の肉の力で破り得るであらうか、今春の活劇は實に歐洲の天地を運命附けるものであらう(東京)

◎化學工業原料培養の必要

東拓囑託 鈴木達治氏談

入京中の東拓囑託鈴木東京高等工業學校敎授の談片に曰く予の入京は

▲東拓から 或る事業に關し色々の調査を託された爲めで其の方は稍く一日を以て終了したから二日より北行して奉天撫順五龍背等を調査し歸東の豫定です朝鮮の化學工業に就ては畏友三宅驥一君の如き熱心な研究者であつて又適當な意見もあるやうだが予は朝鮮の事情にも通せぬから多く語るものを有たない唯一概言すれば朝鮮にも化學工業の原料は少くない、それで之れを適當に培養し調査して行く事は今日の急務であらう一例を擧ぐれば李王家目下施設内の植物園の如き單なる觀賞のみにあてずそこに相當の人士を置いて傍ら

▲事業的の經營 をすると云ふやうな事は必要な事ではないか、他に總督府中央試驗所の如きもあれば敢て植物園のみに之を望むのではないが左樣なる心組みを以て官民共に化學工業の原料を事業的に調査する事は將來半島に於て斯業の發達を期する上に於て必要だと思ふ、此頃内地の工業界では工產品の自給自足必要を云ふ聲が高い、これは至極結構な事であるが其の自給は母國のみに限るのは決して妥當でない、朝鮮も臺灣も關東州も之れに包含させねばならぬ、それに就て食鹽產出の如き朝鮮で先づ努むべき施設ではあるまいか内地の食鹽需要年額十億斤の内瀬戶内海產は八割で其他

▲各府縣の產出 となつて居るが食鹽の需要は人口の增加工業の發展に伴なひ逐年著しい增加を告げてゐるのに内地鹽田の產出は之れに伴はぬ、どうしても内地では近き將來に朝鮮より若くば朝鮮を經由して其の供給を仰がねばならぬと思ふ尤も朝鮮の食鹽は現今需要額程の產出もないらしいが產出適當の地は少なくないと思ふから今後は年產六七千萬斤も出來る廣袤潟の如き鹽田を當局で增設し内地に供給するやうな方法を執るのも刻下の問題だらう、序でに内地の工業界で用ゆる食鹽は

▲十億斤 の二パーセントにも過ぎぬ之れを獨逸の六十數パーセントに比すれば其の差は非常なもので日本の工業界もそこ迄進步するには餘程の努力を要する又鹽專賣制の如きは廢止すべきものだと思ふ

◎工業原料免稅

鮮内製造工業獎勵の趣旨に基き大正七年府令第七十七號を以て左記物品に對し輸移入の關稅免除の規定を設けて更に總督府令第九十九號を以て更に左記五品目の原料を追加せられ同月十日より實施せらる工業者に熟知せられ合々之を知るも有特典は輸移入後一箇年内に加工又は製造を施し輸移出せらるゝものに限れるを十分に了解せられ●鮮内消費品の原料に對しては免稅せらるゝものに非ざる事を誤解せざる樣なからず甚だ遺憾とする處なれば當業者は十分右の趣旨の存する處を了解の上益々鮮内工業の發展に努力せんことを希望すと當局者は語れり

(一)糸技、荏、刺繍若は綾絲を爲し又は「ヽレース」を製作する爲輸入する布帛製品及糸纈
(二)綿糸、絹糸又は染色の爲輸入する布帛製品及び糸纈
(三)絲又は染色の爲輸入する毛皮及び獸皮
(四)皮革製品を製造する爲輸入する獸皮及び鞣皮鞣[illegible]
(五)(六)紙製帽子を製造する爲輸入する紙製帽體
(七)紙又は紙製品を製造する爲輸入する紙製帽體 木釘及び釘鉄等の金屬材料
(八)煙草を製造する爲輸入する葉煙草捲紙口紙用原紙、巻口用原紙包裝用原紙及び金屬箔
(九)洋服及製造する爲輸入する裏地及び[illegible]
(十)棉(?)鍼綿を製造する爲輸入する棉花繊維
(十一)大豆油及大豆油粕を製造する爲輸入する大豆

右の内第四項の(一)内及び第五項以下は大正七年十月十日府令第七十七號を以て追加せられしものにして尙加工又は製造の爲使用したる原品の數量は稅關に於て認定せらるゝものなり

◎小麥粉買占取締

物價調節令中に加入と決定(農商務省發布)

【東京特電】農商務省は九月一日省令の物價調節令に今回新たに其の第一條第一項米穀の次に穀粉類を挿入し小麥粉を挿入する事に決し四日の官報に省令を以て發布す可きが是は主として小麥粉買占の奸商を取締る爲めなりと

◎救世軍總司令官

北京駐在救世軍支那總司令官ジヨンフレンチ少將は一日夜釜山より入京救世軍ホールカン宅へ投宿せり

◎鈴木囑託撫順行

入京中なる東拓囑託東京高等工業敎授鈴木達治氏は二月一日を以て東拓關係事業に關する調査終了に付二日午後發三日撫順に向ひ同地に於ける某事業を調査の上再び入京の豫定なりと

人事消息

▲富永一二氏(平安南道第一部長) 二日夜入京不如火旅館へ ▲荒木銅太氏(中央試驗所長)同上 ▲篠崎京城中學校長 九州、中國、大阪方面に出張中の氏は三四日中に歸京の筈

臨百鑑

戰爭長期中に於ける英米の著述界で大評判なのはモルレー卿の自傳であらう▲卿とは云ふ迄もなく今は子爵であるから「モンレー子」で通りがいゝ、其のジョン、モルレーで英國政治界で識らない人の無い人だ▲其の内から一つの逸話を紹介しよう▲何でも今の國民黨のキャメル、バンナーマンに依つて永い間在野で冷い目に遭つた自由黨も時運が向いて來て、愈々内閣組織の大命が下つた時サア握り出したのはバンナーマンが非常な政治的手腕を用ひたらしい、如何に大政總攬者とは思ひも寄らぬ、如かず之を上院に祭込まうと云つた時▲バンナーマンは大政總攬者(即ち内閣組織者)として院首領(即ち内閣組織者)アスキスを擢ゆとした▲ところで貴族に成つて上院に這入るが好いとグレーの如きも是で一役買つた有名なるグレーの如きが上院に這入るならば自分は斷然入閣せぬと剣付けたので、流石のバンナーマンも困惑した▲そこでモルレー氏(此時未だ卿ではない)に調停を賴んで協議して見たが、議論容易に決せぬ、卿も持て餘した▲處がキャメルバンナーマン氏の態度が打つて變つた果斷で、机卓の上に腕を突き出し、カを籠めた調子で「上院には這入らぬ、他迄下院の首領で働く……」と決心を眉宇の間に見せた▲ハテな何の妙用のかと卿も怪しんだが、疑團は忽ちに氷解した▲恰度卿が歸宅の瞬間に到着したのであつた、乃ち好議に、バンナーマン夫人が嚴格な口調で、バンナーマンは其の愛妻の一言に動かされて決心し▲其の決心は又た他の同僚を動かして、茲に難なく自由黨内閣組織の大事を了したのだ▲女の入智慧は兎角惡結果を來たすのであるがバンナーマン夫人のは格別の成功で▲良人をして名宰相、下院首領の典型と迄謳はしめたとは、モルレー卿の贊辭である

朝鮮及滿洲 二月號(大正七年二月一日發行)

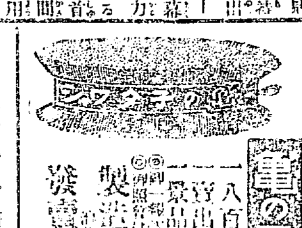
露國單獨講和の成否と日本の態度……伯爵 大隈重信
一般的講和の聲明と獨露の單獨講和
時局の變化と滿鮮在住者の覺悟
戰後の經濟戰に備ふる產業上の施設
總督府新年宴會に招かる……
南大門の上より……
●編輯室より 旭邨生
▲私田町の人々 ▲京城から東京へ ▲京城府の新聞 ▲新設京城劇場
皮の剝ける裏面
冬の幼稚園
若草山のこち
未決監より

朝鮮及滿洲社 京城大和町 電話二三五一

簿記 日本簿記專修學校 東京市芝區櫻川町十一番地 本校は簿記專門學校にして…… 校外生募集

中學 商業學校 高等女學校 高等普通學校 入學試驗問題答案集
朝鮮學術研究會編 發行所 ウツボヤ書籍店 四六版 二百餘頁 定價金五拾錢 送料四錢

學生諸君……御待兼の入學試驗問題 賣切れに……買ふて入學の榮を得らるゝ事を
安藤壽四郎著 朝鮮礦石鑑定實驗書 四六判 二百五十頁 定價一圓弐十錢 送料六錢
朝鮮總督府編 朝鮮漢方藥料植物調査書 四六判洋裝 定價九十錢 送料四錢
發賣元 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
賣捌所 大阪屋號 巖松堂 日韓書房


一八百個入化粧莚包装品付
製造元 大阪市東區淡路町 西尾商店
發賣元 大谷藤四郎商店 電話南一九〇六

鑛山機械 八角鋼 京城南大門通五丁目 中根商會 電話二〇番

揚上五十尺以上保證 鑛山用 押上ポンプ

機械油
マシン油 エンジン油 モビル油 モーター油
電氣機械用 自動車用 鑛山用 工業用油類各種
京城南大門通三丁目 川勝礦油部 電話一〇三二番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 京城日報社寫眞製版部

第五回決算報告 貸借對照表 負債之部 資產之部
株金 弐〇〇、〇〇〇 …… 振威興農株式會社

株式競賣公示
朝鮮會社…… 朝鮮殖産株式會社 辯護士 赤尾虎吉
大正七年二月二日

◉暴風警報(二日午後三時半發) ▲警文 風勢やゝ強し[illegible]

日午前五時頃發火附近に積みありし木炭に延燒して朝鮮建て草葺三戶六棟を全燒して午前六時二十分[illegible]

東昌丸獨艇に撃沈さる
地中海サルヂニヤ南方にて

田中合資會社所有船東昌丸(三千三十八噸)は地中海サルヂニヤ南方海面にて獨艇に撃沈せられたり同船は昨年五月一箇年の期限を以て伊太利政府に傭船されしものにて船員は船長筒井富一氏外高級船員四名其他四十名なり(東京特電)

◆伊太利政府のチャーター

京城水道
何うして給水能力が不足か

京城水道の給水能力が不足であるとは今更云ふ迄も無いがその不完全である事を證明するために聊かその沿革を述べると即ち京城水道はコールブランの計畫に依つて始めて敷設せられたもので明治四十年三月舊韓國政府が

▽二百萬圓を 以てコールブランより買收したるものである爾來今日に至るまで部分的局所の改良其他に約六十萬圓を費して居るのであつて其の給水能力は現在四十五萬立方尺即ち六萬九千四百石に過ぎ固より之は一日の給水能力であるが昨年來師團増設及

▽人口増加に 伴ふ新加入者等に依つて益々料水の需用加はるに從つて愈々給水に不足を告ぐる事と成つて來たのである即ち現狀の儘にては本年は春季に於て夜間の斷水を決行せねばならぬ破目に陷つて居る既往は夏冬

▽二季の斷水 に止まつて居たが本年からは春季にも之れを斷行せざるを得ざる事は當局も全く否認する事の出來ない所である、現に昨今も斷水中であるが府民一般の不便苦痛は一通りではあるまい、獨り給水の不足斷絶は府民の飲料のみに痛苦たるに止まらず時恰も出火時季とも言ふべき

▽冬季初春に 於ては最も危險とすべき事である一朝出火あらんか如何に消防の具(?)ありと雖も給水なくしては何の用も爲すに足るまい京城は日本に於て第七位に位する大都市である、内外の人誰か京城水道の不完全、飲料水の缺乏を告ぐ可しと豫想し得んやである凡そ都市水道として京城は其の

▽規模の狹小 にして不完全なるものはあるまい府民は動もすれば斷水と云ふ憂目に遭はねばならぬ人の生活には飲料水の缺乏程恐ろしいものはない府民たるものは如何なる問題を後にしても此の當面の問題を解決する事に努めなければならぬ敢て京畿道水道係の責任ばかりで無い事は論を俟たない所であらう水道係としては

▽不足極まる 現在京城水道の給水能力四十五萬立方尺、六萬九千四百石を最善に利用して居ると言はねばなるまい要は姑息なる手段に非ずして根本的水道の改築に存する即ち京城都市のまだ幼稚にして人口稀薄の時代に於て設計せられたる現在水道では之れ以上どうする事も出來ない譯だ

酷しい寒氣は最う來まい
一日午後の温度華氏四十六度四

昨今の陽氣の温かいことは珍らしい現象で恰かも四五月頃の樣な氣候となり、お負けに二月に入つてから益々暖かくなる模樣であるから京城測候所員に就て聽て見た、曰く

三十一日朝鮮から黄海中部を占めた高氣壓の主部が本邦西部に流れ去つた後は至極緩漫なる氣壓配布を現はして大陸方面に低壓部位の發生を促しつゝある模樣がある爲め二月一日の如きは恰かも

▣四五月頃 の樣な陽氣となつて各地とも俄かに暖かくなつた、さうして豫報の如く一日朝九時頃雪が降て約二十分で降歇んだが一日朝六時の温度を見ると例年より攝氏の五度温かく午後四時の温度の如きは華氏四十六度四といふ高温であつた。而して二日朝氣壓の主部は

▣本邦より 沿海州に據がつてゐるが一方低氣壓は揚子江方面に發達しかけてゐて京城では二日朝五時十五分頃から雨を降らし一坪五升五合の降水量があつて各地は概ね曇天であつた。二日朝十時の温度は攝氏三度(華氏三十七度四)であつたから午後には又々温度が上るかも知れない、而して目先の天候は前述の如く揚子江方面に

▣低氣壓が 發達しかけてゐるから暫らくは斯んな天候を持續するであらう。而して又た寒氣の再び襲來するかといふ懸念に就ては何分二月に入つて間もない

學校めぐり

▽京城中學校

課業の始めと終りには聞くもいさましき喇叭の音がひゞく

後には仁王の靈山を負ひ前には木覓の青巒に對して城西の高臺に巍然と聳え立つ一大校舍、これぞ京城中學校及び附屬臨時小學校教員養成所である

明治四十二年始めて京城居留民團立京城中學校といふ名稱で産聲を上げたがその後統監府中學校、總督府中學校と改稱して大正二年の四月京城中學校と成り平壤に分校を置いたが大正五年平壤分校は平壤中學校になつて獨立し、大正六年更に大田に分校を設けた。去年第五回の卒業生を出して今迄の卒業生總數は三百十八人

現在の在學生は七百二十九人である

何分にも軍隊式で課業の始めと終りには貧弱な鐘を用ひずして聞くも勇しき喇叭の音が響く、記者が同校を訪問したのは丁度一月三十日その日は最終の寒稽古を了へて全生徒が廣い道場に集り鏡開きの眞最中であつた。氣を付け!ッこれから大餅を配る。一人前一個づゝ、汁に入れて食ふもよしそのまゝ嚙るもよし、又食はずに家へ持歸へるも差支へない。それは隨意だ。始め!ッ』かういふ風にすべてが軍隊式だ。

寒稽古のため柔道撃劍の外に水泳又はスケート

又は長距離の夜行軍をなして心身を鍛へそして健全な國民を作るのが此校の特色である。附屬臨時小學校教員養成所の方は中學校卒業生を一年間師範科に入らしめ朝鮮内各小學校の教師を養成してゐるが定員三十五名に對して毎年志望者が約十倍以上、而も直に内地に歸る者の應募が多いといふ話である

福澤諭吉翁を殺す覺悟
故朝吹英二氏

私が朝吹氏に直接關係を有する様になつたのは慥か明治三十九年頃と思ふ。夫れは氏が『本朝陶工名家傳』と『石田三成傳』の編纂を私に依頼された爲めであつた氏は歴史に深き趣味を持つてゐたが豊臣家の遺臣石田三成に對して非常に同情して何うかし

▣三成の惡名 を雪ぐに足るべき好史料を發見し樣として巨額の失費をも厭はず盛んに其の資料を蒐集したものである『本朝陶工名家傳』といふのは是れも氏が歴史に精通せる所より鎌倉時代道元禪師に隨つて唐に赴き歸來

▣陶工の元祖 と仰がれて尾張の瀬戸に初めて『瀬戸物』なるものを燒き出したる加藤藤四郎の傳を下つて足利時代『染付』と稱する所謂青繪の元祖たる伊勢國の住人五郎太夫祥瑞の傳と又た其の以後に於て寛永年間京都の者で仁清といふ人が錦手即ち俗に謂ふ

▣ニシキデを 完全に燒始めたる事蹟を集輯したるものである。所が石田三成の事は當時大阪時事新報紙上で問題となり發掘する抔といふ段取になつたので兩方の著述を行ひ得ない爲に『三成傳』は文科大學の三上博士に御願み申す事となつて私は前者の編纂に全力を注いだのである。そう云ふ風に同氏は

▣歴史や骨董 抔に趣味を持つてゐたが又た一面に於て和歌も僅か尾上柴舟氏に就て研究した樣である、要するに氏は高尚な方面に於ける多能多趣味な人であつた。殊に面白いのは明治の初年故福澤諭吉翁の文明開化説が癪に障つて堪らなかつたので、豊前國から遙々上京して福澤翁を刺殺する心算で翁に

▣直接面會し た所が反對に翁に說破されて終に福澤翁の門人となつた逸事抔は其の半面を窺ふに足るべき美談であらう。氏は隨分風流三昧に世を送つた事もあるが其の一面に於て稜々たる氣骨を有し學問上の事なら巨額の費用を惜まなかつたのは氏の大なる美點と云はねばならぬ。

軍醫正の奇禍

憲兵隊司令部附二等軍醫正伊藤賢三氏は一日午後五時半頃乘馬にて歸宅の途中大和町二丁目二十二番地先きの下水溝を渡らんとし馬が溝板を踏みたる際溝板が腐朽しゐたるものか破れて片足を溝中に踏み外したる刹那に落馬し頭部を打ちたるも輕微なる擦過傷を負ひしが間もなく全治すべしと

内縁の妻を殺害
良心に咎められて自首

大阪府下津守村東洋紡績會社職工清水達藏(三二)は二日朝四時同衾中の内縁の妻富田せん(二九)を出刃庖刀にて殺害し逃走せるが良心の苛責に堪へず間もなく其筋に自首したり(大阪特電)

鴨江滑走大會

既報の如くいよ〳〵東氷上運動團に於ては愈々來る十日(十一日とありしも變更)午前十時より鴨綠江氷上滑走場に於て第二回滿鮮氷上滑走大會を開催する由參加希望者は二…

物價騰貴と生活難(八)
悲慘なる薄給の小吏の家

物價騰貴に伴ふ生活上の苦しみは今や各階級に亘つて絶叫せられつゝあるところであるが、世の中には隨分悲慘な生活難に[illegible]

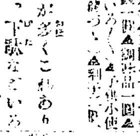
◆◆日給者 に有之候君勸むる一日九十錢の一箇月二十七圓、内一圓は役所にて備ふ[illegible]

◆◆手内職 をさせ候へども乳呑兒抱へては[illegible]

◆◆氷の中 にあるやうな[illegible]

◆◆豫算表 も毎日に提出候[illegible]

◆◆病院に 通ひ其上また[illegible]



鐵の爪を觀る

[illegible]

…ゲレンの串報に據き呈報の大部…度の總收入海關…
一月二十日の政府公報を以て公表…七萬七七兩英貨に換算し居れり右によれば天津、秦皇島、十四萬一千八百五十七…
…收入は海關所三百七十七萬五千兩英貨の八十一萬四千九百六十七磅にて五年度の三百七十四萬六…
…支那關税の收入は獨り我貿易に依りて維持せらるゝの觀ある次第なり(東京)
…錢内外石工は其の數最も少く從つて勞銀は地方によりて非常の差あ…

六棟全燒す

江原道伊川郡方丈面佳麗州里居住雜貨商千代覺藏方より一月二十四…死傷なし損害約一千圓

◉壽座の幹吉 一日より壽座に開演せる米山派旬の春季吉一行の少女飾人芝居は…

◉壽館 二日夜より…一行にて開演する筈なるが初日の…

▼流行燈袴▲
特價金九圓也
◉純毛にして色合は流行鼠色
◉世間有りふれたる内地製品にあらず
◉純英國製にして「シワノヨラヌ」保證
更に五十枚賣出し非常の好評數日ならずして品切れとなりしもの右更に參拾枚限り特價販賣仕候條至急御注文願上候
京城大平通一丁目 京城日報社代理部

京日案内

乳母入用 電話九〇八番 南米倉町 土井
雇員募集 履歷書携帶來談 京城日報滿鮮支社
堅志洞三九
看護婦見習 南大門通
移轉
女中入用 年齡三十歲迄 南大門驛前 二見旅館
山口恭三
鍼灸按摩値上
朝鮮語科 英語科
恩給年金 立替 西村商會

京城西小門町二一番地
田中丸病院
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番

鍾路警察署長 法學士 永野清著
朝鮮警察行政要義
定價貳圓 郵稅十八錢 全一册
賣捌所 京城大平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
院長 酒井一郎
電話 一〇八番 二六〇〇番

資本金 壹百萬圓
諸積立金 參十一萬五百圓
京城南大門通一丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰
支配人 豐田明敬
南大門支店 平澤支店 本町支店 群山支店 仁川支店 東大門出張所

人事周旋業 百般
京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番
萬年社

美馬天地眼來る
如何なる者か
京城本町一丁目 本康館
運命豫言者 美馬天地眼

杉本齒科醫院

菱印
窓硝子
三等品 舶來品ニ比シ一層優良ニテ御用ハ此品ニ限リマス
四等品 通常舶來ト稱ヘ普通ノ用途ニハ至極適當ノ品デアリマス
本社 旭硝子株式會社
工場 第一工場 尼崎 第二工場 牧山 第三工場 鶴見 第四工場 戸畑

櫻御殿

第百四十回 大阪 霞の家主人

二人士(十八)

『理を申さねど理が聞こわぬが、手前の相手と申すは女ぢや』

助左衛門は打ち明けた。利右衛門は喫驚して

『ね、御女儀……』と、不思議さうに問ひ返す

『斯うばかりではお分りもあるまい故、諸事を打ち割つてお話し申す、手前兩刀を帯しながら、武士の端を發しながら、女の跡を追ひかけて、諸國を流浪致すと申さばさぞ御不審にも思召さう、なれどした苦しい理がござる』

助右衛門は、初瀬と清之丞との關係から、初瀬を家に止め置いた事情、清之丞との意地合、その身が初瀬の首級を見ようとして、五日市から家へも歸らず、直に旅へ上つた顛末を詳しく語つた

利右衛門は驚きを重ぬるのみである

『昨夜お聞き申したるは、貴殿の姉御前も廣島にお在でさうな、すれば何處に縁故が結ばれて居るかも知れぬ、由て一應この委細を申し置く』

これには仔細がある、秘密中の秘密なれど既に手前へお味方下さる上は一心同體、お秘し申すべき事にてはあるまじく存じ申すに由り此をも具に語り申す、手前は藝州廣島の城主、福島左衛門尉殿家來ぢや』

『ね』と利右衛門はまた驚く

『そして相手の女儀と申すは、若殿備後守様のお側近くに仕へる女中ぢや』

『ねゝ』と顔の色を變へて『その女儀の名を何と申すな』

『役儀は中臈、名は初瀬、奥方のお供して江戸から上つた者でござる』

利右衛門はもう答へする詞も出なかつた

『その初瀬を仇敵として、長の間流浪致すは、退進ならぬ意地からぢや、ま、お聞き遣はされ、斯う

助左衛門は腹の中を悉くさらけ出した、利右衛門の眉に一むら雲がさつと掛る、快く飲んだ酒が一時に覺める心地であつた

『手前が女中を追ひかくる顛末、これぢや、お分りでござつたか』

『分り申した』

利右衛門は多くを語らなかつた

助左衛門は念を押して

『その初瀬、藝州を發足するとき、男の姿に身を扮して參つた氣、案ずるところ、お手前の不在中に、桐島どのと懇意になり、打ち連れて出發致したのであらう見付け次第首にして持ち歸り、清之丞の面上へ叩きつけて、武士の意地を立てる望みぢや、桐島どのは初瀬に義理をお持ちであらう、お手前と桐島殿とは父子、肉身が敵方に分れて、双方に義理のある昔からある例ぢや、平にお味方を願ひ申す』と覺束なげに面を見入つて

『それとも前のお約束はお取り消しでござるかな』

『武士に二言はない、娘は娘、我等は我等の行く道がござる』

斯うは云つたが、その聲に元氣が無かつた。助左衛門は頷いて

『お疑ひ申しては済まぬが、間違ひはござるまいな』

『口では申さぬ、御覧下され』

一刀を引き寄せて、手早く小柄を抜き取るなり丁々と金打した

『心底見屆け申した』

『二度刀持たぬ法もあれぢや』

『苗字は異つても心は異らぬ、將長く兄弟の誼を結び申した』

『おゝ』

『不束ながら弟とも思召せ』

利右衛門は歎つて助左衛門の手を取つて

『一言忘却仕らぬ』

助左衛門は手を鳴らして酒を命じた、更めて契約の盃をすべく思ひ付いたのである

されど、利右衛門は甲夜に飲んだ時の如く快氣に盃は擧げなかつた、時の勢ひ止むを得ず契約は結んだが、心のぞん底に不安の凝塊が生きて居た

日報俳壇

水仙漬る灯の下にて(阿内櫻木居小集) 鴫原

温麵家の灯を浴び馬がもの食る
温麵家の烟這ふ宵闇の街
雀ぞうめく薄暮れ寒の風募る
月の港に下船す千鳥啼く頻り
千足袋の疎てや寒の風吹く日 櫻水
馬の欠伸に烟が散るや温麵家
温麵家の灯影嬉しき旅情哉
温麵家に牛車夫が聲尖らせる
佛の寒行冴ゆる御堂かな

○ 竹外
温麵の客面白き夕暗の話
愕くヒソとして温麵の鉢荒れ
月の梢に鳴ける白き鳥かな
犬が遠吠ゆて寒月の輝き

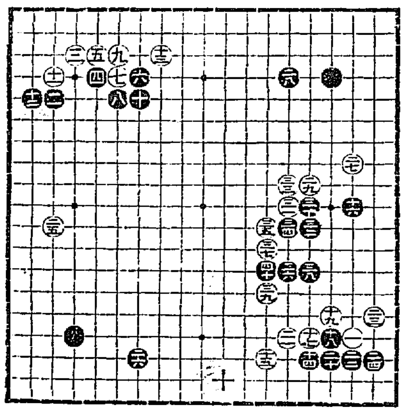
○ 芳宙
寒月に勞銀鳴らし人夫歸る
四温次ぐ駿き弓も絞り見ぬ
氷採り場に寒の陽鈍う慄へる
温泉冷め著ら鵆啼う千鳥又啼けり
温麵家の裸樹に烟が纏れ居り

碁戰

十番碁 第五局の二

三段 山平壽氏 二子 大久保雅彦

白十六の(一廿)より黒十の三(十四)まで



讀者の領分

▲京城の電車は最う少し聯絡がつかないものかしら、せめて乘林停留場にだけでも後の車が來てから前の車を出したら何うだ、殊に本町線に於て此の弊最も著しい(毎電生)▲昌慶苑の飲食店は門外のは賑いが苑内の朝鮮人の飴餅屋と來ると滅法界に高く不味い玉子とぢの價値が一杯十五錢とはアンマリ暴利過ぎるソレに聞けば家賃から水代まで只だと云ふに至ては驚くの外はない(日參生)▲支那料理までが二割方引上げたとは世態にも程がある(憤慨生)

▲投書歡迎 一般の投書を歡迎す、但し成るべく短文にて中傷に渉らざるもの

新刊紹介

▲馬來に於ける邦人活動の現況(南洋及日本人社編纂) 馬來に於ける邦人活動の現況を紹介するものにして本書發行に就ては貢資者の數五百餘に上り…東京印刷の技工に成りしものなれば裝釘殊に美なり(八圓、東京芝區…南洋及日本人社東京支局)

▲朝鮮公論(六の二) 拾貳三號(牧山耕藏) 長谷川…三島鮮銀理事、青木…安藤又三郎、…朝鮮總督府…

▲和文英譯法(佐々間信恭著) 正則に和文英譯をなさんと欲せば此の書に據るを最も捷徑…(八十錢、東京博文館)

▲婦人之友(新年號) 最も實用向きにして多趣味多方面なる家庭雜誌なり(一冊二十錢、東京…)

▲學生(新年號) 主筆大町桂月氏の史傳其他圖野、新渡戸、吉田、近藤、近藤各博士及び名士の有益多趣味なる記事満載し讀者學生のみならず智識階級の人にも向く雜誌なり(二十錢、東京神田富田屋)

▲フースヒー(一五〇) 五、東京下谷…

皮膚科 黴毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍

入院隨意(診察夜九時迄)

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目(元二丁目) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

影響 段落

は月末資金の需要増加を見越し前日より充分の準備を整へ居るに依り市場は極めて平穏に經過し同日は日銀に於ては先般締切りたる國庫證券申込の募入外れとなりたる應募者の便宜を計るが爲め三十日…からざるが如く而して二月十月は…要可成繁忙を呈せん懐想もあるこ…大節季に當り關西方面の資金需…

今回正金興銀の兩行共同し布哇事業の爲め必要の資金を供給する筈に…に於ける在留邦人の經營に成る布…して就中正金銀行は時運の趨勢に…

三犯目付三千

長崎縣對馬…島嚴原町生れ成南元山…げ來り集印章屋に依賴して「…」…押捺して件の貯金通帳を携帯に…

MITSUWA QUINA-IRON WINE

Being prepared from the best materials by thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.50

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

滋養強壯料 香味色佳良滋養力偉大 健胃補血興奮作用卓絶

本品は山梨縣宮崎葡萄醸造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に變敗する憂なく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、硬壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、慢性の發熱、並下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並病後の衰弱、一般の虚弱者に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

▼如斯人は滋養料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

一、食餌の進まぬ病人
一、營養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、病前産後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色蒼く肉痩せ活潑ならぬ人
一、肺病質、腺病質の人
一、腺病、脚氣等に罹つて居る人
一、頸細く心臓弱く疲勞し咳嗽や痰の出易い人
一、性來質の下痢の永く續いて居る人
一、萎黄病など血液の病に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核、肺尖加答兒や肋膜炎、其の他結核性の病に罹つて居る人
一、腎の如き病で發熱の永く續く人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に侵されて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に惱まされて居る人

(現品縮寫圖)

MITSUWA GINSENG WINE

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and force, is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.50

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の強壯を圖り新活力を賦與し得べき

◎ミツワ人參葡萄酒

強壯強精料 風味芳潤溫和滋養豐富 精力増進興奮作用卓絶

▼如斯人は強壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし

一、精力を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を増したい人
一、身體を強壯にしたい人

(現品縮寫圖)

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

最上醤油

朝鮮仁川府 高杉醤油醸造場

醇良清酒

大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎

京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎 電話長一二九番

花柳病外科專門

◎梅毒◎淋病◎軟性下疳◎泌尿生殖器病 ◎痔疾◎痔瘻◎肛門病◎皮膚病 婦人病◎神經衰弱ヒステリー

京城南大門通 司生堂醫院 電話三六九番

處方箋調劑藥局 橋爪彦平藥房

最新刊

大阪屋號書店

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

朝鮮郵船 仁川出帆

日本郵船仁川出帆

尼崎汽船仁川出帆

釜山出帆廣告

共同汽船仁川出帆

織居自動車部 金泉支部 自動車發着時刻